

科目名	QOLと人間の尊厳	授業コード	110181B501	単位数	2単位
担当者(所属)	池脇 信直 (生命医科) 山下 積徳 (外部講師)	時間数	30	AL科目	『○』
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科・生命医科学科(1年生)・動物生命薬科学科(全学年)	必修・選択	必修(動物生命薬科学科は選択)		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>QOLと人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ることが、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活におけるquality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 動物生命:DP1,2,3,4,5)。</p> <p>「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか?例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 動物生命:DP1,2,3,4,5)。</p> <p>授業はQOLと人間の尊厳に関するトピック(話題)をスモールグループディスカッション(SGD)方式で進める。また、本授業に関連したミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う(スポーツ:CP2-1 臨床心理:CP2-1 生命医科:CP2-1 動物生命:CP2-1,2-4)。</p>				
学修目標	<p>1)教育や学びから人生や生活における「質」と「人間の尊厳」を理解し説明できる。</p> <p>2)QOLの言葉の意味を理解し説明できる。</p> <p>3)QOLと健康・疾病・障がいとの関連性を理解し説明できる。</p> <p>4)QOLと公衆衛生活動・QOL評価を説明できる。</p> <p>5)人間の尊厳と社会との関連性を理解し説明できる。</p> <p>6)人間の尊厳と自分の軸(わだち)・キャリア・人生・希望との関連性を理解し説明できる。</p>				
実務経験のある教員による教育	科目担当者である池脇信直は大学病院等で10年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。				
評価方法	受講態度・講義中に行うディスカッション・毎回の講義後のレポート提出によって評価する。すなわち、毎回の授業終了後に理解度テスト(レポート課題)を行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD及びAL型授業において、学習への取組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を50%、学期末の定期試験を50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	授業は主に「QOLと人間の尊厳」に関わる課題を提供すると共に、その課題をSGD及びAL型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計29時間の自己学習を行うこと。すなわち、1回の授業につき4時間以上を目安に予習と復習を行うこと。授業内容の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。				
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	人間の尊厳と教育を考える ～建学の理念からの考察～(専務理事講和)	講義・SGD	池脇	
2	2)	QOLの意味について考える①	講義・SGD	池脇	
3	2)	QOLの意味について考える②	講義・SGD	池脇	
4	3)	「年を取るといふこと」からQOLを考える	講義・SGD	池脇・山下	
5	3)	「ストレスとは」からQOLを考える	講義・SGD	池脇・山下	
6	3)	健康・疾病・障がいからQOLを考える	講義・SGD	池脇	
7	4)	QOLと公衆衛生活動を考える	講義・SGD	池脇	
8	4)	QOL評価を考える	講義・SGD	池脇	
9	5)	人間の尊厳と社会の仕組みを考える	講義・SGD	池脇	
10	5)	人間の尊厳と社会が求めていることを考える	講義・SGD	池脇	
11	6)	人間の尊厳と自分の軸(わだち)を考える	講義・SGD	池脇	
12	6)	人間の尊厳と人生を考える	講義・SGD	池脇	
13	6)	人間の尊厳とAI時代を考える	講義・SGD	池脇	
14	6)	人間の尊厳と希望を考える	講義・SGD	池脇	
15	1)2)3)4)5)6)	まとめ	講義・SGD	池脇	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					

使用しません。

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

資料（プリント）を配付します。
参考書と参考文献を紹介します。

科目名	QOLと人間の尊厳	授業コード	110181B301	単位数	2単位
担当者(所属)	白崎哲哉(薬・薬)、外部講師	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義 SGD		

授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>QOLと人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のより良い人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。</p> <p>まず、「人間の尊厳」や「生命の尊厳」とは、どのような概念であろうか？例えば、「尊厳死」とは本人の人生(生命)観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、時に「人間の尊厳」と「生命の尊厳」は対立し、どのように理解し捉えると良いのか難しい問題である。しかし、医療・福祉に携わる私たちは、この問題に対して常に思考し、医療技術の進歩や社会情勢の変化などに適応していかなければならない。</p> <p>また、病気が障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ること、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。「QOL」とは、quality of lifeの略で、「生活の質」あるいは「人生の質」と訳される。ひととしての尊厳を保ち、その人らしく満足のいく生活・人生を実現すること、そしてそこには、自らの生存のあり方を主観的・客観的に理解して自らの生と死の決定を行うことに根拠を与える概念である。医療・福祉の現場においては、近年、「QOLの向上」が重要視されている。</p> <p>本講義では、「医療人として高い倫理観と豊かな人間性を持ち、患者、家族、生活者の人権や尊厳に配慮して、人の命と健康な生活を守るために行動できる(DP1)」ようになることを主眼とし、「常に患者の立場に立ち、コミュニケーション能力をもって患者・患者家族・他の医療職種と相互の立場を尊重した人間関係を構築してチーム医療へ参画できる(DP2)」ようになり、「医薬品・化学物質等の生体及び環境に対する影響を理解した上で、適切に管理・供給し、個々の患者に適した安全で効果的な薬物療法を実践できる(DP3)」ようになり、「地域住民の視点に立ち、地域の保健医療のニーズを理解した上で、他職種と連携して人々の健康増進と公衆衛生の向上に貢献できる(DP4)」ようになり、「自己研鑽に努め、問題点や社会的動向を把握し、解決に向けて取り組む姿勢を持つとともに、次世代を担う人材の養成を行い、薬学・医療の進歩と改善に貢献できる(DP5)」ようになるために、健康・疾病・障がいや生活の質に関わる様々な事例をもとにスモールグループディスカッション(SGD)や他者の意見を聴くことを通して、「より良い人生」や「QOL」、「人間の尊厳」とは何かについて理解を深めるための基礎知識と姿勢を修得する。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー、DP)との関連性 DP1: 寄与率 75% DP2: 寄与率 5% DP3: 寄与率 5% DP4: 寄与率 5% DP5: 寄与率 10%</p> <p>関連科目 この科目を学んだあとにつなげる科目: 2年次「倫理学」「薬学と生命倫理入門」、3年次「薬学と生命倫理演習」</p>
------------------------	--

学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) QOLや尊厳の言葉の意味を説明できるようになる。(B-2, B-3) 2) 人生や生活における「質」について説明できるようになる。(B-2, B-3) 3) 人の誕生、成長、加齢、死の意味について考え、よりよい生活を実現できるようになる。(B-2, B-3) 4) 資料や自らの体験を通してQOLや生命の尊さ、人間の尊厳の重要性を考え、対応できるようになる。(B-1~4) 5) 医療・福祉に関わる倫理的問題を認識し、問題解決に向けた意識の向上と行動ができるようになる。(B-1~4) 6) 医療・福祉の担い手として、ふさわしい態度を示すことができるようになる。(B-1~4) 7) 他者の意見を聞き、その意見を尊重しながら討議し、自分の思考を深めることができるようになる。(B-1~4) 8) 他者と協力して問題解決できるようになる。(B-1~4) <p>薬学教育モデル・コアカリキュラム(令和4年度改訂版)との対応: B 社会と薬学: B1~4</p>
------	--

実務経験のある教員による教育	医療・福祉領域におけるQOLの重要性や人間の尊厳の概念をさらに詳細に学習するために、医療・福祉の現場で活躍している外部講師を科目担当者に加え、実践経験に基づいた授業を一部展開する。
----------------	--

評価方法	授業終了後に提出するレポートの内容を90%、学習への取り組み姿勢(動画の視聴態度、SGDへの参加態度、SGD後の発表、質問や発言など授業への参加、返却物の受け取りなど)を10%として単位認定を行う。 レポートや発表の内容については、講義や視聴覚教材の内容を踏まえた上で自分の考えを述べているか、今後の自分の行動や成長、行動変容、薬剤師の職務との関係、薬学や医療の発展との関連などについて考えが発展しているかの観点から評価する。
------	--

準備学習・履修上の注意等	各回の授業の目的やSGDの内容・ポイントについて、授業開始時の説明や配布プリント等を介して把握し、自分なりの考えをまとめられるように、積極的に講義や視聴覚教材を視聴したり、調べ物をする事。 SGDでは自分の考えを積極的に述べ、他者の意見を聴いて思考を深めること。 SGD後の発表の時間に、自分の意見を積極的に提示すること。 返却されたレポートをまとめ、生命倫理や医療倫理、臨床薬学、実務実習など、関連科目での学習に役立てること。 各回のテーマ・内容や順番は替わることがある。また、外部講師による講義に変更される場合もある。 1~13回のレポートを14, 15回で使用する。必ず保存しておくこと。
--------------	--

オフィスアワー	月~金曜日 17:00~18:00 研究室 M402
---------	----------------------------

授業計画				
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~8)	導入 障害・薬害から人間の尊厳とQOLを考える	講義SGD	白崎
2	1),2),5),6)	ピンチをchanceに! 日本の肺移植を世界へ	講義	外部講師、白崎

3	1),2),4)~8)	人間の尊厳を保つための仕事を考える	講義SGD	白崎
4	1)~8)	“尊厳をもって生きる”ということを考える	講義SGD	白崎
5	1)~8)	人間の尊厳とQOLから認知症を考える	講義SGD	白崎
6	1)~8)	立場の違いから人間の尊厳を考える	講義SGD	白崎
7	1)~8)	医療におけるQOLと人間の尊厳を考える	講義	外部講師、白崎
8	2)~4),7),8)	人間の尊厳、QOLと教育との関連を考える	講義SGD	白崎
9	1)~8)	教育こそ我が人生 教育からQOLと人間の尊厳を考える	講義	副総長、白崎
10	1),2),4),7),8)	生きがいのある人生をめざそう 仕事に対する姿勢や進め方を通して、QOLや生きがいのある人生について考えてる	講義SGD	白崎
11	1),2),4),6)~8)	共に支えあう視点から人間の尊厳とQOLを考える	講義SGD	白崎
12	1)~4),7),8)	幸せを感じる理由、夢の在り方	講義SGD	白崎
13	1)~4),7),8)	人生を豊かにするために	講義SGD	白崎
14	1)~8)	QOLと人間の尊厳について考えをまとめる①	講義SGD	白崎
15	1)~8)	QOLと人間の尊厳について考えをまとめる②	講義SGD	白崎

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

使用しません。

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

新スタ薬シリーズ編集委員会 編 新スタンダード薬学シリーズ 第2巻 社会と薬学 東京化学同人 ISBN【9784807917327】

科目名	ボランティア活動		授業コード	110151A401	単位数	1単位
担当者(所属)	藤原 幸子(福・スポ) 兒崎 友美(福・スポ)		時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科・臨床福祉学科	必修・選択	選択、社会福祉士国家試験受験資格取得を目指す者は必修			
開講学期	2024年度前期、2024年度後期		授業形態	講義・演習及び活動		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>ボランティア活動は、私たち一人ひとりが身近なことから社会的課題を考えて主体的に取り組む社会参加活動である。</p> <p>1) ボランティア学修をとおして、地域社会に貢献する心を育み、身近な生活の課題や地域社会問題の理解と社会の参加を目指す。 スポDP：(1)(2)(4)、薬学科DP：(1)(4)、動物生命DP：(1)(3)(5)、生命医科DP：(1)(2)(3)(5)(6)(7)、心理DP：(1)(2)(3)(4)(5)(6)</p> <p>2) 実践活動報告書の評価や中間における自己評価、授業最終日にレポート課題を課す。 スポDP：(4)、薬学科DP：(1)(4)、動物生命DP：(1)(2)、生命医科DP：(2)(8)(9)、心理DP：(1)(3)(5)(6)</p>					
学修目標	<p>1) ボランティア活動の意義と意味について理解し、説明することができる。</p> <p>2) 受け入れ先の施設・団体の社会的な役割や多世代の価値観を理解することができる。</p> <p>3) 個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に、主体的かつ計画的に参加することができる。</p> <p>4) 対人援助の基礎として、身近な生活課題や地域社会問題を理解し、各領域における実践を念頭に置きながら活動することができる。</p> <p>5) 社会的マナーを理解し、契約(約束)を守ることができる。</p> <p>6) ボランティア体験を他者と共有するための演習等に積極的に参加し、他者の意見に耳を傾け、自分の思いを言語化することができる。</p> <p>7) 受け入れ先の施設・団体の目的を理解し、大学生ボランティアとしての役割について考察し、ボランティア体験で得た学びを他者と共有することを通して学修を進化させることができる。</p> <p>8) 報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく正確に書くことができる。</p> <p>9) 個々の体験から得たものを言語化し、報告会(演習等も含む)にて発表することができる。</p> <p>10) 薬学教育モデル、コアカリキュラムとの対応ができる。</p>					
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、ソーシャルワーク実践現場において10年以上の実務経験がある。この経験に基づき「ボランティア活動」の習得を目的とした授業と実践指導を行う。また、外部講師として、ボランティア要請団体、ボランティアコーディネーター等の実践者を招く予定。					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容及び報告書を50% ・授業後における小レポートと演習および学習への取り組み姿勢(レポート等の提出状況、授業態度)の評価を20% ・ファイル管理(報告書のつづり方など)を10% ・レポート試験を20% 					
準備学習・履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は、「ボランティア保険」に加入することを推奨する。 ・活動報告書の提出期限を厳守すること(原則、活動日より8日以内)。 ・3回以上理由なく活動報告書の提出日を超過した場合、別途、ボランティア活動を課す。 ・ユニバーサルパスポートで、授業に関する連絡を流すため小まめに確認すること。 ・ボランティア活動に関しては要請書の内容を確認し、自身に必要な情報収集(場所、交通手段、準備物、活動内容に適した服装など)を行い、活動に備えること。 ・講義の際は、必ず活動ファイルを持参すること(報告書や配布物を綴じたもの)。 					
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する					
授業計画						
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当		
1	1) 2)3)6)9)10)	【事前学習①】 1. オリエンテーション 授業概要、授業目標、授業形態、授業計画(スケジュール)、評価方法、単位認定方法について理解する。 2. グループワーク 学生同士の相互理解が進むようアイスブレイクを実施する。また、過去に経験したボランティア活動や自身が抱くボランティア観について共有する。 3. 講義 「ボランティア活動の基本的性格」より、ボランティア活動の意義について理解する。	講義 演習	担当教員		
2	1)2)3)7)10)	【事前学習②】 1. 講義・講話 延岡市内の主なボランティア団体(外部講師)による説明を通して、ボランティア活動の内容を具体的に理解する。 先輩によるボランティア活動の体験を聞き、ボランティア活動のイメージをする。 「ボランティア保険」に関する説明を受け、内容を理解し加入する。	講義	担当教員・学生・外部講師		
3	1)2)3)8)10)	【事前学習③】 1. 講義 学内におけるボランティア活動の参加プロセスについて理解する。 「ボランティア活動報告書」の意義と書き方について理解し、作成することができる。 ボランティア活動に向けての心得を理解する。	講義	担当教員		
4	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】 4月から1月までに、10回以上のボランティア活動を実践する。 ユニバーサルパスポートで紹介するボランティアから、個々の興味・関心や専門分野に関連す	実践	担当教員		

		るボランティア活動に参加し、活動報告書に記録を書く。 活動日より8日以内に活動報告書をボランティアセンターに提出する。 活動報告書は教員の添削を受ける。		
5	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
6	1)2)6)7)9)10)	【ふり返り】 1.講話「市民ボランティアから見る大学生」 ボランティア団体の代表等から本学学生のボランティア参加状況について説明を受け、自身の言行動をふりかえる。 2.グループワーク 講師の講話を聴いて考えたこと、自身のボランティア活動状況（進捗状況）を共有する。 3.グループワーク（ボランティア活動報告書の書き方） グループ内で活動報告書の内容を共有し、課題を解決する。	講義	担当教員・外部講師
7	1)4)5)6)7)9)	【振り返り】 1.講話(先輩に聞く) ボランティア活動の意義と実践について 2.演習 前期の実践について評価し、レポートを書く	講話・演習	担当教員
8	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
9	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
10	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
11	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
12	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
13	1)6)7)9)10)	【講義と評価】 1.活動報告 ボランティアの活動状況を学生が発表する。 2.演習（実践の評価） これまでの実践について振り返る ①これまでの活動の自己評価をする ②達成した学生から得たものは何か討議する。 ③活動を通して気づいた社会的課題、課題解決に向けた取組について討議する。	講義・演習	担当教員
14	3)4)5)7)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
15	1)6)7)9)10)	【活動報告と最終評価】 1.試験（実践の最終評価） レポート試験を行い、ボランティア活動のまとめをする。	演習、試験	担当教員

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名	日向国地域論	授業コード	110125B401	単位数	2単位
担当者(所属)	横山 裕 (福・福)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)・臨床福祉学科	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	九州保健福祉大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義と通じてこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するため(DP4、CP7)の推進力を身につけることを目標とする。				
学修目標	1)地域の歴史や文化について説明できる。 2)地域に期待される大学像を知る。 3)地域における男女の生き方について説明できる。 4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。 5)地域における一次産業とその文化について説明できる。 6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。 7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。 8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。 9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。				
実務経験のある教員による教育	行政、観光、まちづくりなど多方面にわたって地域における実務経験を有する講師を招聘している。				
評価方法	毎講義後に提出物(小レポート)を課し、その評価(100%)によって行う。				
準備学習・履修上の注意等	外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。				
オフィスアワー	月水金12:30~13:00				

授 業 計 画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。	講義	横山
2	1)	宮崎県北地域の文化財及びその保護活動について理解し、歴史と文化との関係性を理解する。	講義	横山・外部講師
3	2)	県北地域に芸術活動の現状を理解し、地域と世界の芸術交流の未来のあり方を理解する。	講義	横山・外部講師
4	4)	県北地区の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。	講義	横山・外部講師
5	5)	県北地域の第三次産業の現状を理解し、商業と街づくり・人づくりの関係について理解する。	講義	横山・外部講師
6	6)	県北の自然の魅力を知り、自然を生かしたまちづくりの現状を理解する。	講義	横山・外部講師
7	7)	県北地域の税金をとりまく現状を理解し、これからの正しい納税者のあり方を身につける。	講義	横山・外部講師
8	7)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。	講義	横山・外部講師
9	1)6)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのか理解する。	講義	横山・外部講師
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。	講義	横山・外部講師
11	8)	県北地域における観光資源の発掘、観光地環境整備、地元プロモーション活動の現状を知り、県北地区の観光の可能性について理解する。	講義	横山・外部講師
12	1)	宮崎県北地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。	講義	横山・外部講師
13	3)	県北地域の自然環境と暮らしとの関係を知り、これからの環境保護活動について理解する。	講義	横山・外部講師
14	1)	県北地域で行われている薪能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。	講義	横山・外部講師
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。	講義	横山

教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】

必要に応じて別途指示する。

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

必要に応じて別途指示する。

科目名	インターンシップ	授業コード	110202A401	単位数	1単位
担当者(所属)	山本(生命医科学部)、三苫(生命医科学部)、竹ノ内(生命医科学部)、二反田(生命医科学部)、興梠(薬学部)、日高(薬学部) 徳永(薬学部)、園田(薬学部)、前田(臨床心理学部)、戸高(臨床心理学部)、稲田(社会福祉学部)、清水(社会福祉学部)、渡邊(社会福祉学部)、中野(社会福祉学部)、正野(社会福祉学部)、神田(社会福祉学部)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	社会福祉学部・薬学部・生命医科学部・臨床心理学部(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義・演習・実習・SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>本学の学則第1条には「本学は(中略)国際化社会に向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。</p> <p>本講義では、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題・チーム医療について考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする。</p>				
学修目標	<p>1) 医療・福祉の定義を説明できる。</p> <p>2) 社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から保健と福祉の関係を説明することができる。</p> <p>3) 医療・福祉を必要とする対象者に係る専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。</p> <p>4) 医療・福祉を必要とする対象者に係る専門職の果たすべき役割について説明できる。</p>				
実務経験のある教員による教育	医療機関や研究機関等での5年以上の実務経験に基づき、医療・福祉等専門職者としての新しい知見や解釈も取り入れた取り組みを行う。				
評価方法	<p>本講義は、社会福祉+心理、薬学、生命医科学の3つのパートからなる。それぞれのパートでレポートを課し、理解度合いをチェックする。</p> <p>学習への取り組み姿勢(レポートの質、総合討論への参加、発表時の質問など)を20%、レポート80%で単位認定を行う。</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>社会福祉+心理(講義演習5コマ)</p> <p>薬学科(講義演習5コマ):薬剤師の業務から考えるチーム医療とは</p> <p>生命医科学科(集中5コマ):臨床検査技師の業務の一部を体験する。</p>				
オフィスアワー	授業開始前開始後 担当教員が質問を受け付けます。				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 2) 3) 4)	社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の福祉専門職の役割と連携のあり方を理解する 福祉	講義	稲田・清水
2	1) 2) 3) 4)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸	講義	渡邊・中野
3	1) 2) 3) 4)	スポーツ・レクリエーションと医療・福祉とのかわり スポ	講義	正野・神田
4	1) 2) 3) 4)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理	講義	前田
5	1) 2) 3) 4)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語	講義	戸高
6	2)~4)	直前学習: 薬剤師の仕事を学ぶ 薬剤師の仕事体験(1): 処方監査	講義・実習	興梠
7	2)~4)	薬剤師の仕事体験(2): 液剤の調剤	講義・実習	日高
8	2)~4)	薬剤師の仕事体験(3): バイタルサインの確認	講義・実習	徳永・園田
9	2)~4)	総合討論(1): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する	SGD	日高
10	2)~4)	総合討論(2): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する	SGD・総合討論	日高
11~15	1) 2) 3) 4)	<p>1. 臨床検査とは何かを理解し、経験する。</p> <p>1) 一次救命を経験する。</p> <p>2) 心電図検査を経験する。</p> <p>3) 肺機能検査を経験する。</p> <p>4) 超音波検査を経験する。</p> <p>5) ヒトの血液細胞を顕微鏡で観察する。</p> <p>6) 各組織のがん細胞顕微鏡で観察する。</p>	演習・総合討論	三苫、山本、二反田、西森

教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】
使用しない。
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】
使用しない。

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B101	単位数	2単位
担当者(所属)	日田 剛 (スポ)、外部講師	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・演習・SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>激動する社会の中で生き抜くためには、自らを社会に開く必要がある。それは社会において何が求められているのかを知ること同時に、仕事を取り巻く環境の理解が欠かせない。そのために学生には早期に将来の自分像を描き、大学で何を学び、学生生活をいかに送るかを考えることが求められる(D2)。</p> <p>本科目は、自らのキャリア形成にどのような知識、技術が必要なのか、また仕事をやりがいのあるものとするために何が必要かを学ぶ。加えて健康で働き続けるために必要な労働者を守る権利、それらを具体化した法制度についても理解することを目的とする(D4)。</p>				
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)科目のねらい、意義が理解できる。 2)現在の社会情勢を身近な問題から、広い視点での問題まで理解できる。 3)「社会人基礎力」が求められる意図を理解する。 4)自分自身を知ること、目指すべき将来像を考えることができる。 5)経済の仕組みについて基本的な理解を進める。 6)社会に潜在している問題を把握することができる。 7)仕事について、その意義を考える。 8)働くうえで必要な社会保障や労働基準法について理解を深める。 9)仕事をめぐる社会情勢について理解する。 10)キャリア教育の視点から労働者の権利について考える。 11)自らのキャリア形成について具体的にイメージする。 				
実務経験のある教員による教育	外部講師として福祉現場で働く卒業生等を招く予定である。				
評価方法	定期的なレポートと最終確認レポート、授業態度や提出物で総合的に評価。レポート10点×5回(50点)、提出物(20点)、最終確認レポート(30点)として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	授業内で行ったSGDについて振り返りを行うこと。授業中に配布した資料は保管しておくこと。外部講師に失礼な態度をとらないこと。				
オフィスアワー	平日13時～17時				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	この科目を学習する目的を考える。	講義	日田	
2	2)	自分を取り巻く社会環境を理解する。	講義	日田	
3	3)	社会人基礎力がどのように構成されているのか具体的に把握する。	講義	日田	
4	3)	社会人基礎力について、それがなぜ必要なのかを客観的に理解する。	講義・演習	日田	
5	4)	自己理解、他者理解について学ぶ。	講義・演習	日田	
6	5)	社会問題について自らの生活に当てはめて議論する。	講義・SGD	日田	
7	5) 6)	仕事するうえで必要な環境について考える。	講義・演習	日田・外部講師	
8	7)	仕事について歴史的に概観し、なぜ仕事が必要なのかを考える。	講義・演習	日田	
9	8)	仕事をめぐってどのような社会問題が発生しているのかを理解する。	演習	日田・外部講師	
10	9)	仕事を行う上で、障壁となる問題について考える。	講義・演習	日田	
11	9)	仕事上、障壁となる社会問題をどう対処する必要があるかを考える。	講義・演習	日田	
12	10)	卒業生等の話から、仕事をするにあたり自らに必要な知識を考える。	講義・演習	日田	
13	11)	これまでの学びから自分のキャリア形成について考える。	講義・SGD	日田	
14	11)	自らのキャリアデザインを視覚化する。	講義・演習	日田	
15	11)	自らのキャリアデザインについてグループ内で発表する。	講義・演習	日田	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
使用しない。					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
使用しない					

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B301	単位数	2単位
担当者(所属)	鈴木 彰人(薬・薬)、日高 宗明(薬・薬)、鳥取部 直子(薬・薬)、橋本 亜衣子(薬・薬)、外部講師	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・演習・見学		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>キャリア教育は、自分に適性のある職業を選択して社会で活躍できる薬剤師になるために、薬剤師の職能に対する正しい知識を修得することをおもな目的とする。</p> <p>自分の将来目標を設定し、それを達成するには、早期に薬学出身者の職場業務を見聞体験して、広い視野から専門職業人として医療、社会における役割と使命を理解することが重要である。特に、患者・生活者本位の立場に立ち、コミュニケーション能力をもって患者・患者家族・他の医療職種と相互の立場を尊重した人間関係を構築してチーム医療において果たすべき役割(DP2)を身近に感じ取り、学習に対するモチベーションを高めることは意義深い。本授業では薬剤師が従事している医療機関・施設、行政機関、試験・研究機関、医薬品関係企業などの見聞体験を通して、医療人として高い倫理観と豊かな人間性を持ち、患者、家族、生活者の人権や尊厳に配慮して、人の命と健康な生活を守るために行動できる態度(DP1)を身に付けることも目的としている。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー、DP)との関連性 DP2: 寄与率70% DP1: 寄与率30%</p> <p>関連科目 この科目を学ぶために関連の強い科目: 1年次「コミュニケーション論」、1年次「QOLと人間の尊厳」 この科目を学んだあとにつなげる科目: 2年次「薬学と生命倫理入門」、4年次「コミュニケーション演習」</p>				
学修目標	<p>1) 社会に出て働くことの意義を説明できる。</p> <p>2) 薬剤師の活動分野について概説できる。 医療の担い手として、必要な知識・技能の修得に努め、自身の職業観を養い、生涯にわたり学び続ける価値観を形成できるようになる。(B-1-1-3)</p> <p>3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。</p> <p>4) 医薬品の情報管理における薬剤師の役割について概説できる。</p> <p>5) 疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。</p> <p>6) 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。</p> <p>7) 医療の担い手にふさわしい態度を示す。 医療の担い手として、常に省察し、自らを高める努力を惜しまず、利他的に公共の利益に資する行動ができるようになる。(B-1-1-2)</p> <p>生命・医療に係る倫理観を身に付け、医療人としての感性を養い、様々な倫理的問題や倫理的状况において主体的に判断し、プロフェSSIONALとして行動できるようになる。(B-1-1-1)</p> <p>8) 「キャリア」および「キャリアデザイン」の重要性について概説できる。</p> <p>9) 自分の長所・適正に鑑みて、自分に向いていると思う職業を、理由を付けて論述できる。</p> <p>10) 社会人としての挨拶、礼儀作法を実践できる。</p> <p>11) 医療人としての接遇、マナーや言葉づかいの重要性を感じる。</p> <p>12) シミュレーションによる電話応対を体験し、自己紹介や情報伝達・確認を実践できる。</p> <p>13) 薬学出身者の業務を見聞し、その役割について説明できる。</p> <p>14) 薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その役割について説明できる。 医療、保健、介護、福祉に関わる他の専門職の職能について理解し、多職種連携における薬剤師の役割や専門性について説明する。(B-2-2-1)</p> <p>15) 自分が目標とする薬剤師像を掲げ、それに近づくために実践すべきことを具体的に述べることができる。</p> <p>16) 多様な集団、組織の中でコミュニケーションを築くことの重要性を感じる。</p> <p>薬学モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) B 社会と薬学; B-1-1-1, B-1-1-2, B-1-1-3, B-2-2-1 に対応する。</p>				
実務経験のある教員による教育	<p>科目担当者(鈴木、日高)は、大学病院での5年以上の実務経験に基づいて、患者・生活者本位の視点に立つ医療人としての役割の理解を促し、薬学生としての自覚や学習に対する意欲を高め、医療の専門家として相応しい態度の醸成を図る。 ※外部講師として、臨床現場で活躍している方を招く予定。</p>				
評価方法	<p>以下の [1]、[2] を点数化して、合計点で単位認定を行う。</p> <p>[1] 第1回～7, 11回授業: 課題レポート(45点) + 態度(5点) で評価する。</p> <p>[2] 第8回～10, 12～15回授業: 外部講師による講義及び施設見学後のレポート(30点) + 態度(20点) で評価する。 態度・・・授業への積極的な態度(質疑応答・発表時、挙手による発言や質問など)。</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業における講義・演習は医療施設等を見学するための事前学習であるので、授業すべてに出席することを単位修得の要件とする。 ・施設の見学は夏休みの指定された日時に行う。 ・見学施設で迷惑行為が生じた場合、単位修得ができないことがある。 ・施設見学の際、他人に不快感を与えるような身だしなみや態度は厳禁である。 ・レポート提出は課題ごとに締切日および提出方法(パソコンで電子ファイルを送信・提出することもある)を指示する。 				

	授業前の準備と授業後のまとめ ・教科書を必ず読んでおくこと（第2～7回授業：レポート作成に必須である）。 ・施設見学を行う前準備として、インターネットを利用して各施設のHPで施設の特徴や概要を調べること。 ・授業前後、週末および長期休暇期間の計15時間を使い、課題レポートの作成、討議・発表に向けての調査や資料の作成を行うこと。
--	---

オフィスアワー	（鈴木）月・金曜日 16：00～18：00 研究室：M410 （日高）月・金曜日 16：00～18：00・研究室：M412 （橋本）月曜日 15：30～17：00 研究室：M419 （鳥取部）月・金曜日 9：00～12：00 研究室：M504
---------	--

授 業 計 画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)2)	講義概要説明 仕事とは？働くとは？なぜ働くのですか？	講義	鳥取部・鈴木
2	7)16)	コミュニケーションとは何だろう？医療人としてのコミュニケーションとは？	講義	橋本
3	7)16)	自分のコミュニケーション能力について（1）	講義・演習	鳥取部・外部講師
4	7)16)	自分のコミュニケーション能力について（2）	講義・演習	鳥取部・外部講師
5	2)3)5)6)7)13)	調剤薬局薬剤師の業務とは？	講義	鳥取部・外部講師
6	2)3)4)6)7)13)	病院薬剤師の業務とは？	講義	鳥取部・外部講師
7	1)2)3)4)5)6)7)13)16)	中間まとめ演習	演習	鳥取部
8	1)2)	早期体験学習ガイダンス・学習の心構え 見学施設紹介及び見学施設の振り分けの説明	講義	鈴木・日高
9	10)11)12)16)	社会におけるマナーを実践して、挨拶や電話対応の重要性を感じ取ろう(1)	講義・演習	鈴木・日高・外部講師
10	10)11)12)16)	社会におけるマナーを実践して、挨拶や電話対応の重要性を感じ取ろう(2)	講義・演習	鈴木・日高・外部講師
11	1)2)6)8)9)15)	自分のキャリアをどう考えるか	講義	鳥取部・外部講師
12	10)11)12)	医療施設の見学・体験時のマナー	講義	鈴木・日高
13	13)14)15)	病院・保険薬局見学	体験・見学	鈴木・日高
14	13)14)15)	病院・保険薬局見学	体験・見学	鈴木・日高
15	13)14)15)	保健所・薬品工場・医薬品卸見学	体験・見学	鈴木・日高

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック ver.2（西鶴智香 著）薬事日報社【978-4-8408-1407-2】

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

使用しません。

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B302	単位数	2単位
担当者(所属)	明石敏(薬・生)、片本宏(薬・生)、松葉隆司(薬・生)、紺野克彦(薬・生)、山内利秋(薬・生)、橋本美穂(薬・生)、正木美佳(薬・生)、宮内亜宜(薬・生)、萩尾光美(外部講師)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	概要：教員並びに外部講師のキャリアから、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考えることができる(DP1)。 一般目標：各教員並びに外部講師のキャリアを学び、自分の人生に目標・目的をもち、自分の人生をどう送りたいのか、を計画的に準備する意義を認識することができる(CP1(3))。				
学修目標	1)自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考えることができる。 2)教員及び外部講師から種々の情報収集の方法を知り、説明することができる。 3)教員及び外部講師の経験(キャリア)や専門知識を知り、将来想定している自分のキャリアに何が今後、必要かを考え説明することができる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は各領域における実務担当者であり、それぞれの実務経験(キャリア)から、学生自身の将来のキャリア(ライフプラン)を認識・学修を目的とした授業を行う。				
評価方法	15回目に各教員及び外部講師のキャリアについての「まとめ」を報告していただきます。報告内容(成果)並びにe-ラーニング(30%)と授業態度(70%)を総合的に評価する。e-ラーニング内容並びに評価の基準は授業開始日に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	各教員及び外部講師のキャリア、専門用語などをノートに記録すること。専門用語などは、学習内容のまとめを作成して復習すること。				
オフィスアワー	オムニバス授業のため各教員による掲示に従うこと。				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【教員のキャリア①】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	明石
2	1)2)3)	【外部講師のキャリア②】外部講師(東九州動物医療センター 萩尾光美院長のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	外部講師 萩尾光美
3	1)2)3)	【教員のキャリア③】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	橋本
4	1)2)3)	【教員のキャリア④】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	橋本
5	1)2)3)	【教員のキャリア⑤】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	片本
6	1)2)3)	【教員のキャリア⑥】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	片本
7	1)2)3)	【教員のキャリア⑦】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	松葉
8	1)2)3)	【教員のキャリア⑧】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	松葉
9	1)2)3)	【教員のキャリア⑨】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	紺野
10	1)2)3)	【教員のキャリア⑩】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	紺野
11	1)2)3)	【教員のキャリア⑪】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	山内
12	1)2)3)	【教員のキャリア⑫】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	山内
13	1)2)3)	【教員のキャリア⑬】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	正木
14	1)2)3)	【教員のキャリア⑭】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	宮内
15	1)2)3)	【教員のキャリア⑮】各担当教員のキャリアの「まとめ」について報告する。「まとめ」から自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	明石

教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しません。

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

各教員が指示します。

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B501	単位数	2単位
担当者(所属)	池脇 信直 (生命医科)	時間数	30	AL科目	『○』
配当学科(学年)	生命医科学科(2年)	必修・選択	重要な科目になります。必ず履修して下さい(選択必修)。		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	中央教育審議会(中教審)の答申を基盤に、大学教育の中で知識や技能を実につけ、自己の個性を理解し、将来社会に貢献できる有望な人材として成長するための基礎的な能力を養うことを目的とする(DP3,5,6,7,8,9 CP1-1)。以下の6つのテーマについて、スモールグループディスカッション(SGD)及びアクティブラーニング(AL)型で授業を進める(CP1-1,2-1)。(1)「はたらく」意味を考える。(2)「キャリア」について考える。(3)「自分の轍」を考える。(4)「社会が求めていること」を考える。(5)「未来のはたらきかた」を考える。(6)「職業」を考える。				
学修目標	1)「はたらく」意味を説明できる。 2)「キャリア」について説明できる。 3)「自分の轍」を説明できる。 4)「社会が求めていること」を説明できる。 5)「未来のはたらきかた」を概説できる。 6)「希望」について概説できる。 7)「職業」を説明できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者の池脇信直は臨床現場(大学病院等)での10年以上の実務経験に基づき、中教審が掲げるキャリア教育に関する最新の資料とデータを提供しながら授業を行う。				
評価方法	毎回の授業終了後に理解度テストを行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD及びAL型授業において、学習への取り組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を50%、学期末の定期試験を50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	授業は主に「キャリア教育」に関わる課題を提供すると共に、その課題をSGD及びAL型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。1回の授業につき4時間以上を目安に予習と復習を行うこと。				
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	「はたらく」意味を考える①	講義・SGD	池脇
2	1)	「はたらく」意味を考える②	講義・SGD	池脇
3	2)	「キャリア」について考える①	講義・SGD	池脇
4	2)	「キャリア」について考える②	講義・SGD	池脇
5	3)	「自分の轍(わだち)」を考える①	講義・SGD	池脇
6	3)	「自分の轍(わだち)」を考える②	講義・SGD	池脇
7	4)	「社会が求めていること」を考える①	講義・SGD	池脇
8	4)	「社会が求めていること」を考える②	講義・SGD	池脇
9	5)	「未来のはたらきかた」を考える①	講義・SGD	池脇
10	5)	「未来のはたらきかた」を考える②	講義・SGD	池脇
11	6)	「希望」について考える①	講義・SGD	池脇
12	6)	「希望」について考える②	講義・SGD	池脇
13	7)	「職業」を考える① 適職と天職	講義・SGD	池脇
14	1)~7)	「職業」を考える② 臨床検査技師・臨床工学技士・細胞検査士の仕事を知る	講義・SGD	池脇
15	1)~7)	「職業」を考える③ 生命医学研究者の仕事を知る	講義・SGD	池脇

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

使用しません。

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

資料(プリント)を配付します。
参考書と参考文献を紹介します。

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B601	単位数	2単位
担当者(所属)	横山 裕 (心・心)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	本講義の目標は、「豊かな人間性、高いコミュニケーション能力、高度な臨床的知識を備えた言語聴覚士または公認心理師」になるために(DP1,2,4)、社会人としての基礎を身につけながら、並行して専門職を目指す者としての基礎を身につけることにある(CP1,2)。				
学修目標	1) 自分の特徴(いわゆる長所・短所)を客観視する。 2) 自分と社会との接点に気付く。 3) 言語聴覚士及び公認心理師の仕事の社会的側面について知る。 4) 自己キャリアデザインに必要なスキルについて知る。 5) 人生100年時代を生きる意味と社会構造の変化へ対応する意味を理解する。				
実務経験のある教員による教育	キャリアカウンセラーとして5年以上の実務経験を有する。				
評価方法	授業毎の小テストやレポート課題により形式的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業の参加態度など)の評価を50%、学期末の総括レポートを50%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	医療や福祉のみならず、政治・経済など各自のキャリアデザインに関する最新の動向について関心を持つように心がけること。また、自分の長所・短所を知り、長所は伸ばす、短所は改善することが人生100年時代の新しい生き方を身につけるために重要である。				
オフィスアワー	教員のオフィスアワーに準ずる。				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1),2)	キャリアとは何か理解する。	講義	横山
2	1),2)	キャリア教育の意味について考える。	講義・SGD	横山
3	1),2)	自己のキャリアを考える視点を理解する。	講義	横山
4	1),2)	自己のキャリアを形成する方法について学ぶ。	講義	横山
5	3)	キャリアデザインにおける資格について考える。	講義	横山
6	1),2),3)	自己のキャリアプランを立ててみる。	講義	横山
7	1),2),3)	他者のキャリアを理解する。	講義・SGD	横山
8	3),4)	医療、保健領域を取り巻く状況を理解する。	講義	横山
9	3),4)	人生100年時代を取り巻く社会状況を理解する。	講義	横山
10	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(1)社会構造	講義	横山
11	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(2)産業構造	講義	横山
12	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(3)経済社会	講義	横山
13	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(4)個性と多様性	講義	横山
14	1)~5)	人生100年時代に必要なキャリアを理解する。	講義・SGD	横山
15	1)~5)	総括	講義	横山

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

特にありませんが、教員より参考書等文献の指示があります。

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

教員の指示に従ってください。

科目名	生物学	授業コード	110101B101	単位数	2単位
担当者(所属)	池脇 信直 (生命医科)	時間数	30	AL科目	『○』
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	生物学では、生命体(生物体)の概要を科学的に理解し、生物学的なものの考え方を習得することを第一目標とする(スポーツ: DP3, CP1-1 臨床心理: DP-5, CP1-1)。そのためには個々の知識のみを獲得するのではなく、授業全体を通して内容の繋がりや生物学的意義、またそれぞれの知見が得られてきた過程や背景などを理解することが必要である。所属学科の分野にのみ留まらず、スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科の学生として、偏りなく内容を理解し知識を習得することが大切である。授業は毎回の確認小テスト及びその答え合わせのスマールグループディスカッション(SGD)を進める(スポーツ: CP2-1 臨床心理: CP2-1)。また、簡単な生物学のデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う(スポーツ: CP2-1 臨床心理: CP2-1)。				
学修目標	1)生命体を持つ性質について説明できる。 2)生命体を構成する核酸、タンパク質、脂質、炭水化物について説明できる。 3)細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格の構造と機能について説明できる。 4)遺伝現象を担う核酸(DNAとRNA)、DNAの複製機序、体細胞分裂、減数分裂について説明できる。 5)生命活動を担うエネルギーの獲得、ATPが果たす役割について説明できる。 6)免疫機能、脳の機能、ストレスの機序、老化現象、筋肉の機能について説明できる。 7)遺伝子組換え、クローン技術、再生医療について説明できる。 8)生態系の構成、生命体を取り巻く環境について説明できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当の池脇信直は臨床現場(大学病院等)や医療系企業で10年以上の実務経験に基づき、最新の生物学に関する資料とデータを提供しながら授業を行う。				
評価方法	毎回の授業終了後に確認小テストを行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を20%、学期末の定期試験を80%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	授業は主にプロジェクターで資料および説明図を提示し、その内容を解説する形で進める。人の健康や幸せを支える生命科学系学問である生物学を基盤に「生物全体の幸せ」を考えていくことが求められる。授業の内容に関して予習項目と内容を指示するので、それに従って予習してくる。毎回の授業後は、授業中に自分でとったノート、配付されたプリントを使って授業内容をレポートにまとめて復習すること。1回の授業につき4時間を目安に予習と復習を行うこと。受験で生物学を選択しなかった人は、基礎知識を早期に習得するよう努力すること。受験で生物学を選択した人は、既得の知識に生物学の世界を再構築するよう努めること。				
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日: 12:20～13:00 副学長室				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	【生命体の概念】 生命体を持つ性質	講義・SGD	池脇	
2	2)	【生命現象を支える分子1】 生命体を構成する核酸、タンパク質	講義・SGD	池脇	
3	2)	【生命現象を支える分子2】 生命体を構成する糖質、脂質	講義・SGD	池脇	
4	3)	【細胞の構造と機能】 細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格	講義・SGD	池脇	
5	4)	【核酸と染色体】 遺伝現象を担う核酸(DNAおよびRNA)と染色体	講義・SGD	池脇	
6	4)	【DNAの複製と細胞分裂】 DNA複製の機序、体細胞分裂、減数分裂	講義・SGD	池脇	
7	5)	【エネルギーと代謝】 生命活動を担うエネルギーの獲得とATP	講義・SGD	池脇	
8	6)	【生命体の機能1】 免疫に関わる物質、免疫担当細胞	講義・SGD	池脇	
9	6)	【生命体の機能2】 免疫に関わる病気(免疫疾患)	講義・SGD	池脇	
10	6)	【生命体の機能3】 神経系の構造、脳の働き	講義・SGD	池脇	
11	6)	【生命体の機能4】 ホルモンの作用、ストレスの機序	講義・SGD	池脇	
12	6)	【生命体の機能5】 老化関連物質、老化現象、抗酸化作用、水素と生命体	講義・SGD	池脇	

13	6)	【生命体の機能6】 運動に関わる物質、筋肉（筋肉エンジン）	講義・SGD	池脇
14	7)	【バイオテクノロジー】 遺伝子組換え、クローン技術、DNA鑑定、再生医療	講義・SGD	池脇
15	8)	【生命体と環境】 生態系の構成、生命体を取り巻く環境	講義・SGD	池脇
教科書（著者名）出版社名【ISBN】				
使用しません。				
参考書（著者名）出版社名【ISBN】				
資料（プリント）を配付します。				

科目名	高齢者福祉	授業コード	121659B101	単位数	2単位
担当者(所属)	兒崎 友美 (講師)	時間数	30	AL科目	○
配当学科 (学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について学び、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く環境について理解する。また、高齢者に対する法制度と支援お仕組みを学び、高齢期における生活課題を踏まえた社会福祉士としての適切な支援のあり方を習得できる。</p> <p>(スポDP：③、④ 臨心DP：①、⑥)</p>				
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者の定義と特性を社会的側面、身体的・精神的側面より総合的に説明できる。 2) 少子高齢社会について説明できる。 3) 高齢者の生活実態について説明できる。 4) 高齢者を取り巻く社会環境について説明できる。 5) 高齢者観の変遷・高齢者福祉の発展過程について説明できる。 6) 高齢者福祉の理念と介護保険制度の枠組みについて説明できる。 7) 介護保険制度の概要（介護保険財政・保険者と被保険者・保険料）について説明できる。 8) 介護保険制度の概要（要介護認定のプロセス・保健給付・介護保険事業計画）について説明できる。 9) 地域支援事業について説明できる。 10) 介護保険サービスの体系（居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービス）について説明できる。 11) 高齢者保健福祉の法体系（老人福祉法、高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法）について説明できる。 12) 高齢者保健福祉の法体系（高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法、市町村独自の高齢者支援）について説明できる。 13) 関係機関の役割や関連する専門職等の役割について説明できる。 14) 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。 15) 高齢者と家族等に対する支援の実践について説明できる。 				
実務経験のある教員による教育	<p>科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、介護保険制度の理解と実践、および他の専門職との具体的な連携方法の理解を促す。また、高齢者福祉にかかわる幅広い課題に対応できる視点や考え方の習得を目的とした授業を行う。</p>				
評価方法	<p>* 定期試験を70%</p> <p>* 出席時に毎回提出するレポート、提出物（課題など）を10%</p> <p>* 授業中随時行う小テストや中間テストを20%とし、総合的に評価する。</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>授業前後に2時間ずつの予習復習を設けること</p> <p>プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること</p>				
オフィスアワー	<p>授業前後、1時間程度</p>				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	【オリエンテーション、高齢者と少子高齢社会】 高齢期の社会的理解、高齢者を身体的・精神的・総合的な視座を学ぶ。	講義・SGD	兒崎	
2	2)	【高齢者と少子高齢社会】 高齢化と高齢化率、日本の高齢化の状況、高齢化が進む理由、今後の高齢化の見通し、日本の高齢化の特徴と課題について学ぶ。	講義	兒崎	
3	3)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者の経済・就労・健康・要介護・社会参加・生活環境の状況について学ぶ。	講義	講義	
4	4)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者世帯の特徴・家族介護（者）の状況・家族介護の多様化・高齢者と家族の生活保障について学ぶ。	講義	講義	
5	5)	【高齢者福祉の歴史と理念】 社会における高齢者観の変遷、老年学における高齢者観の変化、現代における高齢者観の諸概念、社会福祉の発達前から老人福祉法の誕生、介護保険制度の誕生、地域包括ケアシステム構築を学ぶ。	講義	講義	
6	6) 7)	【介護保険制度】 介護保険制度の枠組み、介護保険財政、保険者と被保険者、保険料について学ぶ。	講義	講義	
7	7) 8)	【介護保険制度】 要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護保険事業計画を学ぶ。	講義	講義	
8	9)	【介護保険制度】 地域支援事業の内容、地域包括支援センターを学ぶ。	講義	講義	
9	10)	【介護保険制度】 居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービスを学ぶ。	講義	講義	

10	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 福祉と保健、高齢社会対策基本法、老人福祉法（法成立の背景・改正経過・目的と理念・法に基づく措置・有料老人ホーム）を学ぶ。	講義	講義
11	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 高齢者医療確保法（旧老人保健法の流れ、特定健康診査と特定保健指導、後期高齢者医療制度）、高齢者虐待防止法（法の概要、高齢者虐待の未然防止）、バリアフリー法（わが国におけるバリアフリー政策の展開、法の概要）を学ぶ。	講義	講義
12	12)	【高齢者に対する関連諸制度】 高齢者住まい法（法の内容、これからの高齢者住まい法と高齢者の住まいの展望、バランスのとれた住宅行政）、高年齢者雇用安定法（高年齢者雇用安定法の概要、高年齢期の就労と経済状況、定年制と年金保険制度、高年齢者雇用安定法の改正）を学ぶ。	講義	講義
13	12)	【高齢者に対する関連諸制度】 育児・介護休業法（法の趣旨、主な内容、今後の課題）、市町村独自の高齢者支援（介護保険外の高齢者支援サービスの意義、一般会計としての位置づけ）を学ぶ。	講義	講義
14	13)	【高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割】 行政機関・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会・地域包括支援センター・ハロワークと人材センター、フォーマルとインフォーマルな援助者の役割を学ぶ。	講義	講義
15	14) 15)	【高齢者と家族等に対する支援の実際】 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割や高齢者と高齢sなどに対する支援の実際を学ぶ。	講義	講義

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

2 最新社会福祉士養成講座、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「高齢者福祉」中央法規【978-4-8058-8245-0】

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名	権利擁護を支える法制度	授業コード	121672B101	単位数	2単位
担当者(所属)	日田 剛 (福・福)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)・臨床心理学部(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	「権利」とは何か、その根源的な意味を問い直し、憲法、民法、行政法の基本的な知識を習得し、相談援助を展開する上で、想定される法律問題に対応ができる。また、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解し、誰のための何の権利擁護を実践しなければならぬかが明らかにできる。この科目での学習を通して社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し、鋭い人権感覚を養うことができる(DP3)。				
学修目標	1)憲法、民法、行政法が生活にどのように関わっているか説明できる。 2)成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを理解し、その特性、最近の動向を把握できる。 3)日常生活自立支援事業の概要を理解し、成年後見制度と関連付けて把握できる。 4)成年後見利用支援事業の概要を理解し、問題点を指摘できる。 5)利用者の権利擁護を図るために、専門機関、専門職がどのように連携しているのか説明できる。 6)権利擁護にかかわる専門職の役割と社会福祉士の立ち位置を確認できる。 7)判断能力の不十分な高齢者、障害者を支援する社会福祉士の活動の実際を理解し、その重要性を把握できる。 8)事例を通じて権利擁護の実践について具体的にイメージすることができる。				
実務経験のある教員による教育	実務経験(成年後見人等10年)のある担当教員(日田)による実践に即した内容の講義である。				
評価方法	科目単位認定試験および授業後に提出させるレポート課題により評価。				
準備学習・履修上の注意等	講義時には教科書を使用するため必ず持ってくる。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。その他、毎授業後にレポートを提出すること。				
オフィスアワー	後日連絡				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【相談援助の活動と法①】 「権利」とは、「権利擁護」とは何かを考える。その上で権利擁護に向けた相談援助の活動において想定される法律問題を列挙できる。	講義	日田
2	1)	【相談援助の活動と法②】 社会福祉士として権利擁護の役割を担うための法制度はどのようなものがあるのか理解し、説明できる。	講義	日田
3	2)	【成年後見制度①】 成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを学習することによって、社会福祉士が成年後見制度の担い手として、法律専門職とともに権利擁護の役割を果たす意味は何かを説明できる。	講義	日田
4	2)	【成年後見制度②】 最近の動向を踏まえ、後見事務のあり方など制度の課題を列挙できる。	講義	日田
5	3)	【日常生活自立支援事業①】 日常生活自立支援事業が成年後見制度と車の両輪と位置づけられるのは何故なのかを説明できる。	講義	日田
6	3)	【日常生活自立支援事業②】 成年後見制度との相違点や特徴を列挙でき、この両者は相互に補完し合う形で機能を果たしていることを説明できる。	講義	日田
7	4)	【成年後見制度利用支援事業①】 経済的理由で費用や報酬の支払いができない人は、成年後見制度を利用できないといった事態に陥るため、市長村が行う成年後見制度の利用を支援する事業を創設したがその変遷を説明できる。	講義	日田
8	4)	【成年後見制度利用支援事業②】 福祉行政が経済的理由で費用や報酬の支払いができない人に対してどのように支援していくかを説明できる。	講義	日田
9	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体①】 成年後見制度の根幹である家庭裁判所の役割を列挙できる。	講義	日田
10	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体②】 制度を支える法務局、市長村、社会福祉協議会、児童相談所の役割を列挙でき、社会福祉士の役割と業務内容を説明できる。	講義	日田
11	6)	【権利擁護にかかわる専門職の役割①】 成年後見制度を含めた権利擁護制度にかかわる弁護士、司法書士、公証人、医師の役割を説明できる。	講義	日田

12	6)	【権利擁護にかかわる専門職の役割②】 社会福祉の活動の実際を理解し、第三者であるいずれの専門職においても鋭い人権感覚が必要であることが説明できる。	講義	日田
13	7)	【成年後見活動の実際①】 認知症を有する高齢者の虐待事例や重度知的障がい者の虐待事例から成年後見活動の実際を理解し、支援の留意点を説明できる。	講義	外部講師
14	7)	【成年後見活動の実際②】 市長村長申立ての事例を理解することによって、より明確な成年後見人等の役割と市長村の役割を説明できる。	講義	外部講師
15	1)2)5)6)8)	【権利擁護活動の実際】 ソーシャルワーク実践は、児童から高齢者、障がい者、ホームレスの人などを対象にした幅の広い支援が必要であり、そのためには医療や福祉の知識だけでなく、総合的な知識が必要なことを、事例を通して理解し、社会福祉士という専門職の価値と原則の具体化とはどういうことなのかを説明できる。	講義	日田

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座9 権利擁護を支える法制度 中央法規

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

使用しない。

科目名	医療ソーシャルワーク演習	授業コード	121690A101	単位数	1単位
担当者(所属)	川崎 順子 (福・福)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(3年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義 演習 見学		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>保健・医療分野のソーシャルワーク展開においても、多くの職種や多様な関係機関と連携・協働していくことで、利用者の支援システムを構築していくことが求められる。</p> <p>医療ソーシャルワーク演習では、多様な職種・機関の目的、役割や視点を理解するとともに、チームで支援していくための連携の考え方や方法論を修得する 臨床 DP(2)(3)、スポDP(1)(3)(1)(3)、心理DP(1)(3))</p> <p>また、医療領域特有の実践課題を理解し、ソーシャルワークを展開できる実践力を修得する 臨床DP(3)(4)、スポDP(1)(3)、心理DP(2)(3)</p>				
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 医療ソーシャルワークの連携・協働の目的と必要性について説明できる。 2) 医療領域に関わる専門職の位置づけと役割について説明できる。 3) 医療領域における多職種連携のあり方を説明できる。 4) 連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を説明できる。 5) 連携に必要なとされる実践力とは何かを説明できる。 6) 医療領域における実践課題が整理でき、チームマネジメントの重要性が説明ができる。 				
実務経験のある教員による教育	科目担当は、社会福祉士の資格を有し実践現場5年以上の経験に基づき、連携実践場面の実際を参考に授業を行う。				
評価方法	レポート課題にて30%、定期試験70%にて評価する。				
準備学習・履修上の注意等	<p>次の履修条件を全て満たすことを基本とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会福祉士の資格取得を希望し、ソーシャルワーク実習Ⅱを履修済みのもの。 2) 4年次の医療ソーシャルワーク実習指導、実習を履修予定のもの。 <p>1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習を行うこと。</p>				
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示した時間				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	医療領域におけるソーシャルワーク展開を理解する(医療機関内)(1)	講義	川崎
2	1)	医療領域におけるソーシャルワーク展開を理解する(医療機関外)(2)	講義	川崎
3	2)	医療領域に関わる専門職の法的根拠と役割を理解する(1)	講義・SGD	川崎
4	2)	医療領域に関わる専門職の法的根拠と役割を理解する(2)	講義・SGD	川崎・外部講師
5	3)	医療ソーシャルワークにおける連携の必要性を理解する	講義	川崎
6	3)	連携の考え方やチームワーク方法論を理解する(1)	講義・SGD	川崎
7	3)	連携の考え方やチームワーク方法論を理解する(2)	講義・SGD	川崎
8	3)	事例に基づく多職種連携の実践状況を理解する(1)	講義	川崎
9	3)	事例に基づく多職種連携の実践状況を理解する(2)	講義	川崎
10	4)	医療機関内の連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を理解する	講義・SGD	川崎・外部講師
11	4)	医療機関外との連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を理解する	講義・SGD	川崎
12	2)3)4)5)	医療機関などの見学を行い、医療ソーシャルワーカー業務の実際を学とともに、連携実践課題を理解する。	病院見学	川崎 外部見学
13	2)3)4)5)	多職種連携に関わる専門職からの講義を受け、連携の有り方を理解する	講義・SGD	川崎・外部講師
14	4)5)6)	多職種連携のあり方を理解する(ケア会議・カンファレンス等の見学)	見学又は外部講師による講義	川崎・外部講師
15	4)5)6)	医療ソーシャルワーク実践のチームマネジメントの重要性をまとめることができる	講義	川崎

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

必要に応じて紹介を行う

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

使用しない。

科目名	貧困に対する支援	授業コード	121665B101	単位数	2単位
担当者(所属)	日田 剛(福・福)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	公的扶助分野は、現代社会が生み出す貧困・低所得問題に対処するための一連の制度的な取組を指し、市民生活を守る社会保障・社会福祉制度の最後のセーフティーネットとして位置づけられている。公的扶助の概念と範囲、意義と役割についての理解、「貧困」「低所得」などの問題の理解、公的扶助制度の主要制度である生活保護制度の仕組み、動向、福祉事務所を中心とした実施体制などの理解、相談活動実践事例など、自立支援プログラムの在り方などの理解を通じて、専門家としての知識の修得を図る(DP3)。				
学修目標	1)「貧困」について、その定義と概念を説明できる。 2)公的扶助の対象となる貧困・低所得とは何なのかなどを説明できる。 3)公的扶助の制度的沿革、わが国の貧困・低所得対策などが説明できる。 4)生活保護制度の仕組み(目的・原理・原則など)、不服審査制度など説明できる。 5)最低生活保障水準の考え方、生活扶助基準の算定方法など説明できる。 6)生活保護の受給人員、世帯の動向、各種扶助別人員数などの説明ができる。 7)低所得者対策としての生活福祉資金制度の内容を説明できる。 8)生活保護運営実施体制と関係機関、団体の役割などについて説明できる。 9)貧困・低所得者に対する相談援助活動(関連専門職・専門機関との連携など)を説明できる。 10)生活保護における自立支援プログラムについて説明ができる。				
実務経験のある教員による教育	生活保護行政にかかわる外部講師を招聘予定				
評価方法	ミニテスト、単位認定試験、授業態度などを総合的に判断して評価。				
準備学習・履修上の注意等	予習・復習を行うこと。 授業中にミニテストを実施する。社会福祉士国家資格試験の過去問を使用して実施する。生活保護は社会情勢との関連があるので、新聞などを読むこと。				
オフィスアワー	講義前後の可能な時間				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	「貧困」が現代においてどのように語られているか、また、どのような問題があるのかを理解する。合わせて「貧困」について自らの問題として考える。	講義	日田	
2	2)	貧困・低所得とは何か、貧困と社会的排除(絶対的貧困・相対的貧困、社会的排除としての貧困、わが国における貧困の研究、貧困・低所得者問題の現代的課題	講義	日田	
3	3)	公的扶助制度の歴史：海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の近年の動向	講義	日田	
4	4)	生活保護法の目的・基本原理・原則、保護の種類と内容および方法、保護施設	講義	日田	
5	4)	被保護者の権利および義務、不服申立と訴訟、生活保護の財源・予算	講義	日田	
6	5)	最低生活保障水準の考え方、生活保護基準の考え方	講義	日田	
7	5)	生活保護基準の実際、最低生活保障水準の実際	講義	日田	
8	6)	生活保護の動向：被保護人員・世帯数、保護の開始・廃止	講義	日田	
9	6)	生活保護の動向：医療扶助の動向。介護扶助の動向	講義	日田	
10	7)	低所得者の概要：生活福祉資金貸付制度	講義	日田	
11	7)	低所得者の概要：社会手当制度、ホームレス対策、その他の低所得者対策	講義	日田	
12	8)	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体：国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所の役割、福祉事務所専門職員の役割	講義	日田	
13	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動：生活保護制度における相談援助活動	講義	日田	
14	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動：他機関・他職種との連携・協働	講義	日田	
15	10)	生活保護における自立支援：自立とは何か	講義	外部講師	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】					
最新 社会福祉士養成講座4 貧困に対する支援 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】					
歴史との対話—現代府福祉の源流を探る—(西尾祐吾 塚口伍喜夫)大学教育出版					

科目名	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	授業コード	121667B101	単位数	2単位
担当者(所属)	川崎 順子(福・福)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床DP(3)(5)(6)、スポDP(3)(4)、心理DP(3)(6)				
学修目標	1) 地域を基盤としたソーシャルワークの展開について説明できる。 2) 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について説明できる。 3) 福祉計画の意義と種類、策定と運用について説明できる。 4) 国・都道府県・市町村の役割、社行政の組織及び専門職の役割について説明できる。 5) 福祉における財源について説明できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者(川崎)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。				
評価方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テスト、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。				
準備学習・履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。				
オフィスアワー	時間割確定後 オフィスアワー時間を設定し、研究室前に掲示する。				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	6,地域を基盤としたソーシャルワークの展開 (1) 地域を基盤としたソーシャルワークの方法 ① 地域を基盤としたソーシャルワークの概念、求められてきた背景について理解する。 ② 生活困窮者自立支援とコミュニティソーシャルワークについて理解する。 ③ 地域共生社会の実現に向けたアプローチについて考える。	講義	川崎
2	1)	(2) 住民の主体形成に向けたアプローチ ① 地域福祉における住民の主体形成の意義と方法について理解する。 ② 住民の主体形成を援助するソーシャルワークの視点と方法を理解する ③ 社会的包摂(地域共生社会)形成に向けた福祉学習について理解する	講義	川崎
3	1)	(3) 具体的な展開 ① 地域を基盤としたソーシャルワーク展開の具体を理解する。 ② 事例の展開をとおして、五つのポイントを知る。	講義・SGD	川崎・外部講師
4	1)	③ 住民の主体性を尊重し、育む多職種連携について考える。	講義・SGD	川崎
5	1) 2)	7,災害時における総合的かつ包括的な支援体制 (1) 非常時や災害時における法制度 ① 災害対策基本法、災害救助法について理解する。	講義	川崎
6	1) 2)	② 特定非常災害特別措置法、災害弔慰金の支給等に関する法律について理解する。 ③ 被災者生活再建支援法、その他の支援の仕組みについて理解する。	講義	川崎
7	1) 2)	(2) 非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援 ① 災害と被災者が抱える多様なニーズについて考える。 ② 他職種との連携による包括的な支援について考える。	講義	川崎
8	1) 2)	③ 災害に備えた平時からの取組みの重要性について理解する。	講義	川崎
9	3)	8,福祉計画の意義と種類、策定と運用 (1) 福祉計画の定義、目的、機能と歴史的展開 ① 福祉計画の定義、歴史的展開について理解し、福祉計画の基本的視点を知る。 ② 我が国の福祉制度の展開を理解し、福祉計画の種類と類型、果たす機能について知る。	講義	川崎
10	3)	(2) 市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容 ① 地域福祉計画の歴史的展開について理解する。 ② 社会福祉法改正と市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画について理解する。	講義	川崎
11	3)	(3) 福祉計画の策定過程と方法 ① 福祉計画の主体、計画の過程モデルについて理解する。 ② 福祉計画の過程と特徴、問題の分析と合意形成過程について理解する。 ③ 福祉計画の過程における方法・技術、留意点について理解する。	講義	川崎

12	3)	(4) 福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術 ① ニーズの概念、類型について理解する。 ② ニーズ把握の方法・技術、留意点について理解する。 (5) 福祉計画における評価 ① 福祉計画における評価の方法・技術、実際、留意点について理解する。	講義	川崎
13	4)	9,福祉行財政システム (1) 国の役割 ① 行政の骨格、国の福祉行政体制とその役割について理解する。 ② 法定受託事務と自治事務について理解する。 (2) 都道府県の役割 ① 都道府県の福祉行政体制と組織、役割について理解する。 (3) 市町村の役割 ① 市町村の福祉行政体制と組織、役割について理解理解する理解する。 (4) 国と地方の関係 ① 中央集権から地方自治への流れを理解する。 ② 地方分権の意義と改革の流れを把握し、地方創生について理解する。	講義	川崎
14	4)	(5) 福祉行政の組織および専門職の役割 ① 社会福祉の実施体制、社会福祉の専門機関について理解する。 ② 社会福祉の専門職について理解する。	講義	川崎
15	5)	(6) 福祉における財源 ① 国と地方の財源について理解する。 ② 保険料財源について理解する。 ③ 民間の財源について理解する。 【後期講義の振返り】	講義	川崎

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）

「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版（978-4-8058-8236-8 ）

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。

科目名	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		授業コード	121666B101	単位数	2単位
担当者(所属)	川崎 順子(福・福)		時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)		必修・選択			
開講学期	2024年度前期		授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床DP(3)(5)(6)、スポーツDP(3)(4)、心理DP(3)(6)					
学修目標	1) 地域福祉の基本的な考え方について説明できる。 2) 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について説明できる。 3) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について説明できる。 4) 地域福祉ガバナンスと多機関協働について説明できる。					
実務経験のある教員による教育	科目担当者(川崎)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での5年以上の実務経験に基づき、実践的な内容を取り入れ、「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。					
評価方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テストの内容、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。					
準備学習・履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。					
オフィスアワー	時間割確定後、オフィスアワーを設定し、研究室前に掲示する。					
授 業 計 画						
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1)	1,ガイダンス(講義の概要と予定) 地域福祉とは何か 2,地域福祉の基本的な考え方 (1) 地域福祉の概念と理論 ① 地域福祉の概念と理論の変遷/新たな展開と理論的な視点について理解する。	講義	川崎		
2	1)	(2) 地域福祉の歴史 ① 欧米の地域福祉の源流の内容について理解する。 ② 我が国の地域福祉の源流の内容について理解する。 ③ 戦後から今日に至る地域福祉の歴史的変遷の内容について理解する。	講義	川崎		
3	1)	(3) 地域福祉の動向 ① 人口減少・超高齢社会における地域生活課題について把握する。 ② 地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向について理解する。 (4) 地域福祉の推進主体 ① 地域福祉の推進主体(組織)とは何か、その役割の実際について理解する。(社会福祉協議会を中心に)	講義・SGD	川崎		
4	1)	(5) 地域福祉の主体と福祉教育 ① 人々の直面する地域生活課題の傾向を理解する。 ② 地域福祉の推進主体/地域住民の主体形成と福祉教育について考える。	講義	川崎		
5	1) 2)	3,地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題 (1) 地域社会の概念と理論 ① 地域社会の概念と地域社会の理論について理解する。	講義	川崎		
6	1) 2)	(2) 地域社会の変化 ① 近年の地域社会の変化の諸相を把握する。 ② 地域社会の変化による課題と対応策を考える。	講義・SGD	川崎		
7	1) 2)	(3) 多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ ① 地域社会を多様なシステムの複雑な相互作用から捉え、理解する視点を身につける。 ② 多様化・複雑化する地域生活課題と表出にかかわる状況とニーズについて考える。	講義	川崎		
8	1) 2)	(4) 地域福祉と社会的孤立 ① 地域福祉の概念と我が国の政策上の位置づけについて理解する。 ② 社会的孤立とセルフ・ネグレクト、社会的排除の概念について理解する。	講義	川崎・外部講師		
9	3)	4,地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 (1)地域包括ケアシステム ① 地域包括ケアシステムの考え方、確立の経過、展開について理解する。 ② 包括的な相談支援体制について理解する。	講義	川崎		
10	3)	(2) 生活困窮者自立支援の考え方 ① 生活困窮者自立支援制度の目的と基本理念、概要について理解する。 ② 自立相談支援事業の役割と支援過程について理解する。	講義	川崎		

		<ul style="list-style-type: none"> ③ 生活困窮者自立支援に必要な倫理と基本姿勢を理解する ④ 高齢者、生活困窮者以外を対象とする包括的な相談支援体制について理解する。 		
11	3)	<ul style="list-style-type: none"> (3) 包括的支援体制とは ① 包括的支援体制の実現に向けての展開と具体的展開方法について理解する。 (4) 地域共生社会の構築とは ① 地域共生社会と実現の方向について理解する。 	講義	川崎
12	3)	<ul style="list-style-type: none"> (5) 地域共生社会の実現に向けた各種施策 ① 包括的支援体制構築事業と市町村での体制整備について理解する。 ② 包括的支援体制の確立に向けての社会福祉法改正（2020（令和2）年）を理解する。 ③ 包括支援体制の確立に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。 	講義	川崎
13	3) 4)	<p>5.地域福祉ガバナンスと多機関協働</p> <p>(1) 地域福祉ガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域福祉ガバナンスの考え方と他機関協働のマネジメントについて理解する。 ② 地域住民の参加と協働について考える。 ③ 地域福祉ガバナンスを進める協議の場の形成と運営、専門職の役割について考える。 <p>(2) 多機関協働を促進する仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 総合相談と包括的な支援体制を支える各種相談機関の連携協働の意義と仕組みについて理解する。 	講義	川崎
14	3) 4)	<ul style="list-style-type: none"> (3) 多職種連携 ① 多職種連携の目的と多職種連携を促進する要因やコンピテンシーについて理解する。 	講義	川崎
15	3) 4)	<ul style="list-style-type: none"> (4) 福祉以外の分野との機関協働の実際 ① さまざまな主体のさまざまな発想と協働で地域福祉を進める目的と意義について考える。 ② 福祉以外の分野との協働による開発的実践について理解する。 ③ 地方創生の政策と社会的企業について理解する。 <p>【前期講義の振り返り】</p>	講義	川崎
<p>教科書（著者名）出版社名【ISBN】</p> <p>一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版（978-4-8058-8236-8 ）</p> <p>参考書（著者名）出版社名【ISBN】</p> <p>使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。</p>				

科目名	社会保障Ⅱ		授業コード	121494B101	単位数	2単位
担当者(所属)	末永 恭 (非常勤講師)		時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科2年生		必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期		授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下6つのねらいが提示されている。</p> <p>①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 ③社会保障制度の財政について理解する。 ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。 ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</p> <p>この科目では、社会保障制度を理解することをとおして、福祉実践力(DP(3))の涵養をはかることを目標にする。さらに講義の中でSGDを実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。</p>					
学修目標	<p>1) 社会保障制度の体系を把握する～医療保険制度の体系を説明することができるようになる。 2) 社会保障制度の体系を把握する～介護保険制度の体系を説明できるようになる。 3) 社会保障制度の体系を把握する～年金保険制度の体系を説明することができる。 4) 社会保障制度の体系を把握する～労働者災害補償保険と雇用保険の体系を説明することができる。 5) 社会保障制度の体系を把握する～生活保護制度の概要を説明することができる。 6) 社会保障制度の体系を把握する～社会手当制度の概要を説明することができる。 7) 社会保障制度の体系を把握する～社会福祉制度の概要を説明することができる。 8) 諸外国における社会保障制度の理解～諸外国の社会保障制度を、わが国の制度と比較して、各国の特徴を説明することができる。</p>					
実務経験のある教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場5年以上の経験に基づき社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。					
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び後期末試験70%として総合的に評価する。					
準備学習・履修上の注意等	シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省webページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに90分以上の予習時間が必要である。 講義後は、自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に90分以上を費やす必要がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じてSGDも実施する。					
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。					
授 業 計 画						
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1)	医療保険制度の概要・体系・種類等を自分の状況と照らし合わせて理解する	講義・SGD	末永		
2	1)	医療保険制度の具体的な流れや支払い方法等について理解する	講義・SGD	末永		
3	2)	介護保険制度の概要について、近年の高齢者福祉の動向と照らし合わせながら理解する	講義・SGD	末永		
4	2)	介護保険制度の詳細について、最新の情報を調べて理解を深める	講義・SGD	末永		
5	3)	年金制度の概要について、種類や加入状況、給付状況など最新の情報を調べて把握する	講義・SGD	末永		
6	3)	年金制度の種類について、それぞれの特徴や概要を理解する。	講義	末永		
7	4)	労働災害保険と雇用保険制度の概要について、実際の現状と照らし合わせながら理解する	講義・SGD	末永		
8	4)	労働災害保険と雇用保険の実際について、事例をあげながら詳細を把握する	講義	末永		
9	5)	生活保護制度の歴史的な流れや、現在の制度の概要(原理・原則)について理解する	講義	末永		
10	5)	生活保護法の実際を学び、関連施策についても理解を深める	講義	末永		
11	6)	社会手当制度の概要について、家族関係の社会的背景とリンクさせながら理解する	講義・SGD	末永		
12	7)	社会福祉制度の概要について、歴史的背景も含めて時系列的に理解する	講義	末永		
13	8)	海外の社会保障制度を学ぶ	講義	末永		
14	8)	海外の社会保障制度と我が国の社会保障制度を比較する	講義	末永		
15	1)～8)	社会保障に関する総まとめとして、社会保障制度の全体像を把握する	講義・SGD	末永		
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】						
最新 社会福祉士養成講座7 社会保障(日本ソーシャルワーク学校連盟編集) 中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5						

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

特に指定しない。

科目名	社会保障Ⅰ	授業コード	121493B101	単位数	2単位
担当者(所属)	末永 恭 (非常勤講師)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科2年生	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下6つのねらいが提示されている。</p> <p>①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 ③社会保障制度の財政について理解する。 ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。 ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</p> <p>以上6つのねらいを受けて、この科目①～④までを学ぶ。また、社会保障制度の概要を理解することをとおして、将来福祉現場で活躍する社会福祉士としての福祉実践力(DP(3))の涵養をはかる。さらに講義の中でSGDを実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。</p>				
学修目標	<p>1) 現代社会における社会保障制度の現状(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む)を理解する～人口動態、経済環境、労働環境の変化から現状を説明することができる。</p> <p>2) 社会保障の概念や対象及びその理念を理解する～社会保障の概念とその範囲および役割と意義、理念と対象およびその展開を述べるすることができる。</p> <p>3) 社会保障と財政を理解する～社会保障の財源を一般会計や地方経費などから述べるることができる。また、社会保障給付費の内訳と動向を説明できる。さらに国民負担率とは何か説明して、それが経済に与える影響について自身意見も含めて述べるができる。について述べるができる。</p> <p>4) 社会保険と社会扶助の関係を理解する～社会保険の概念と範囲及び社会扶助の概念と範囲を理解して、その相違を明確に説明することができる。</p> <p>5) 公的保険制度と民間保険制度の関係を理解する～それぞれの特徴を把握して、その課題を明確にして、相違及び補完性を述べることができる。</p>				
実務経験のある教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場5年以上の経験に基づき社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。				
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び後期末試験70%として総合的に評価する。				
準備学習・履修上の注意等	シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省webページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに90分以上の予習時間が必要である。 講義後は、自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に90分以上を費やす必要がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じてSGDも実施する。				
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	「社会保障とは」という概念について、人口減少と少子高齢化をもとに社会保障の成り立ちを理解する	講義	末永	
2	1)	人口減少と少子高齢化が社会及び社会保障に与える影響について理解する	講義・SGD	末永	
3	1)	日本の経済成長と共に変化してきた社会保障についてどのように変化してきたのかを理解する	講義・SGD	末永	
4	1)	労働環境の変化がもたらす社会への影響と社会保障の課題について理解する	講義・SGD	末永	
5	2)	社会保障の概念や対象、及びその理念について総合的に理解する	講義・SGD	末永	
6	2)	社会保障の役割と意義について、総合的に理解するとともに、救貧と防貧の違いについて理解する	講義	末永	
7	2)	社会保障の理念として生存権と社会連帯、社会保障との関連について理解する	講義・SGD	末永	
8	3)	社会保障制度の展開について、歴史的背景を学ぶとともに、社会保険・社会手当が出来た経緯について理解する	講義	末永	
9	3)	戦後の社会保障の拡充と近年の制度改正について整理して理解する	講義	末永	
10	3)	社会保障の財政について種類や財源の確保の方法、内訳等について理解する	講義	末永	
11	3)	社会保障の財政について国民の負担が生活にどのような影響を及ぼしているかを理解する	講義・SGD	末永	
12	4)	保険と扶助のメリットデメリットについてSGDにて考える	講義・SGD	末永	
13	4)	社会保険と社会扶助の特徴について理解し、「自助」「共助」「公助」の関係性を理解する	講義	末永	

14	5)	社会保険と民間保険の種類や違いについて、自分が加入している保険と照らし合わせながら理解する	講義・SGD	未永
15	5)	社会保険と民間保険の相互関係について理解する	講義・SGD	未永
教科書（著者名）出版社名【ISBN】				
最新 社会福祉士養成講座7 社会保障（日本ソーシャルワーク学校連盟編集）中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5				
参考書（著者名）出版社名【ISBN】				
講義の中で適時紹介する。				

科目名	権利擁護を支える法制度	授業コード	121672B101	単位数	2単位
担当者(所属)	日田 剛 (福・福)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)・臨床心理学部(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	「権利」とは何か、その根源的な意味を問い直し、憲法、民法、行政法の基本的な知識を習得し、相談援助を展開する上で、想定される法律問題に対応ができる。また、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解し、誰のための何の権利擁護を実践しなければならぬかが明らかにできる。この科目での学習を通して社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し、鋭い人権感覚を養うことができる(DP3)。				
学修目標	1)憲法、民法、行政法が生活にどのように関わっているか説明できる。 2)成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを理解し、その特性、最近の動向を把握できる。 3)日常生活自立支援事業の概要を理解し、成年後見制度と関連付けて把握できる。 4)成年後見利用支援事業の概要を理解し、問題点を指摘できる。 5)利用者の権利擁護を図るために、専門機関、専門職がどのように連携しているのか説明できる。 6)権利擁護にかかわる専門職の役割と社会福祉士の立ち位置を確認できる。 7)判断能力の不十分な高齢者、障害者を支援する社会福祉士の活動の実際を理解し、その重要性を把握できる。 8)事例を通じて権利擁護の実践について具体的にイメージすることができる。				
実務経験のある教員による教育	実務経験(成年後見人等10年)のある担当教員(日田)による実践に即した内容の講義である。				
評価方法	科目単位認定試験および授業後に提出させるレポート課題により評価。				
準備学習・履修上の注意等	講義時には教科書を使用するため必ず持ってくる。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。その他、毎授業後にレポートを提出すること。				
オフィスアワー	後日連絡				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【相談援助の活動と法①】 「権利」とは、「権利擁護」とは何かを考える。その上で権利擁護に向けた相談援助の活動において想定される法律問題を列挙できる。	講義	日田
2	1)	【相談援助の活動と法②】 社会福祉士として権利擁護の役割を担うための法制度はどのようなものがあるのか理解し、説明できる。	講義	日田
3	2)	【成年後見制度①】 成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを学習することによって、社会福祉士が成年後見制度の担い手として、法律専門職とともに権利擁護の役割を果たす意味は何かを説明できる。	講義	日田
4	2)	【成年後見制度②】 最近の動向を踏まえ、後見事務のあり方など制度の課題を列挙できる。	講義	日田
5	3)	【日常生活自立支援事業①】 日常生活自立支援事業が成年後見制度と車の両輪と位置づけられるのは何故なのかを説明できる。	講義	日田
6	3)	【日常生活自立支援事業②】 成年後見制度との相違点や特徴を列挙でき、この両者は相互に補完し合う形で機能を果たしていることを説明できる。	講義	日田
7	4)	【成年後見制度利用支援事業①】 経済的理由で費用や報酬の支払いができない人は、成年後見制度を利用できないといった事態に陥るため、市長村が行う成年後見制度の利用を支援する事業を創設したがその変遷を説明できる。	講義	日田
8	4)	【成年後見制度利用支援事業②】 福祉行政が経済的理由で費用や報酬の支払いができない人に対してどのように支援していくかを説明できる。	講義	日田
9	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体①】 成年後見制度の根幹である家庭裁判所の役割を列挙できる。	講義	日田
10	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体②】 制度を支える法務局、市長村、社会福祉協議会、児童相談所の役割を列挙でき、社会福祉士の役割と業務内容を説明できる。	講義	日田
11	6)	【権利擁護にかかわる専門職の役割①】 成年後見制度を含めた権利擁護制度にかかわる弁護士、司法書士、公証人、医師の役割を説明できる。	講義	日田

12	6)	【権利擁護にかかわる専門職の役割②】 社会福祉の活動の実際を理解し、第三者であるいずれの専門職においても鋭い人権感覚が必要であることが説明できる。	講義	日田
13	7)	【成年後見活動の実際①】 認知症を有する高齢者の虐待事例や重度知的障がい者の虐待事例から成年後見活動の実際を理解し、支援の留意点を説明できる。	講義	外部講師
14	7)	【成年後見活動の実際②】 市長村長申立ての事例を理解することによって、より明確な成年後見人等の役割と市長村の役割を説明できる。	講義	外部講師
15	1)2)5)6)8)	【権利擁護活動の実際】 ソーシャルワーク実践は、児童から高齢者、障がい者、ホームレスの人などを対象にした幅の広い支援が必要であり、そのためには医療や福祉の知識だけでなく、総合的な知識が必要なことを、事例を通して理解し、社会福祉士という専門職の価値と原則の具体化とはどういうことなのかを説明できる。	講義	日田

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座9 権利擁護を支える法制度 中央法規

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

使用しない。

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	授業コード	121668B101	単位数	2単位
担当者(所属)	兒崎 友美(講師)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・SGD		

授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>今般の新カリキュラムの改正により、社会福祉士と精神保健福祉士の共通科目が拡充され、「相談援助」の名称が「ソーシャルワーク」に変更された。国による社会福祉・社会保障施策に注目すると、その潮流は、「地域共生社会の実現」「我が事・丸ごと」「制度横断的」「包括的な相談支援体制の構築」「住民主体の地域課題解決体制の構築」等をキーワードとして確認できる。このような流れにおいて、地域共生社会の実現を推進する観点からソーシャルワークの機能や社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーク専門職への社会的期待が高まっていることが窺える。</p> <p>両資格に共通するソーシャルワークの実践基盤となる人と環境の交互作用に関する理論やソーシャルワークの一連のプロセス等について、深く学ぶことを目的とする。</p> <p>(臨福DP:②、⑤、 スポDP:③、④、 心理DP:①、⑥)</p>
------------------------	---

学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論について説明できる。 2) 生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。 3) ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。 4) アセスメントの意義や目的について説明できる。 5) アセスメントの方法や留意点を説明できる。 6) プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスについて説明できる。 7) プランニングの方法や留意点を説明できる。 8) 支援の実施やモニタリングを説明できる。 9) 効果測定について説明できる。 10) 支援の終結や支援の結果評価について説明できる。 11) アフターケアについて説明できる。 12) ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について説明できる。 13) 治療モデルやストレスモデル、生活モデルについて説明できる。 14) 心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチについて説明できる。
------	---

実務経験のある教員による教育	<p>科目担当は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践においてソーシャルワーク理論や援助技術をどのように用いるのか事例を使いながらより具体的な理解を促す。</p>
----------------	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> * 定期試験を70% * 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)を10% * 授業中随時行う小テストや中間テストを20%とし、総合的に評価する。
------	---

準備学習・履修上の注意等	<p>事前に必ずテキストを読んでくること。</p> <p>授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。</p> <p>プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること。</p>
--------------	--

オフィスアワー	授業開始前後1時間
---------	-----------

授 業 計 画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	【ソーシャルワークの理論と方法の講義オリエンテーション】	講義・SGD	兒崎
2	1)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク】 システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論を学ぶ。	講義	兒崎
3	2)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク②】 生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学ぶ。	講義	兒崎
4	4)	【ソーシャルワークの過程/ケース発見とエンゲージメント】 ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について学ぶ。	講義	兒崎
5	5)	【ソーシャルワークの過程/アセスメント】 アセスメントの意義や目的について学ぶ。	講義	兒崎
6	6)	【ソーシャルワークの展開/アセスメント②】 アセスメントの方法や留意点を学ぶ。	講義	兒崎
7	7)	【ソーシャルワークの過程/プランニング?】 プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスを学ぶ。	講義	兒崎
8	8)	【ソーシャルワークの過程/プランニング②】 プランニングの方法や留意点を学ぶ。	講義	兒崎
9	9)	【ソーシャルワークの過程/支援実施とモニタリング】 支援の実施やモニタリングを学ぶ。	講義	兒崎

10	10)	【ソーシャルワークの過程/支援の実施とモニタリング②】 効果測定について学ぶ。	講義	兒崎
11	11)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア?】 支援の終結や支援の結果評価について説明学ぶ。	講義	兒崎
12	12)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア②】 アフターケアについて学ぶ。	講義	兒崎
13	13)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ?】 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について学ぶ。	講義	兒崎
14	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②】 治療モデルやストレングスモデル、生活モデルについて学ぶ。	講義	兒崎
15	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③】 心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチを学ぶ。	講義	兒崎

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

12 ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕（一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集）中央法規【978-4-8058-8242-9】

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名	実務実習Ⅰ	授業コード	120511J301	単位数	10単位
担当者(所属)	徳永仁、大倉正道、大塚功、緒方賢次、金光卓也、木村博昭、黒川昌彦、白崎哲哉、鈴木彰人、高村徳人、鳥取部直子、比佐博彰、松本貴之、山崎哲郎、横山祥子、渥美聡孝、内田太郎、甲斐久博、興梠幸章、園田純一郎、田原佳代子、堤敏彦、常住淳、戸井田達典、日高宗明、吉田裕樹、杉田千泰、中村賢一、長野貴之、橋本亜衣子（全員が薬・薬）、指導薬剤師	時間数	450	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(5年)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期、2024年度後期	授業形態	実習		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤、製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。これらの修得により、常に患者の立場に立ち、コミュニケーション能力をもって患者・患者家族・他の医療職種と相互の立場を尊重した人間関係を構築してチーム医療へ参画できる(DP2)。同じく、医薬品・化学物質等の生体及び環境に対する影響を理解した上で、適切に管理・供給し、個々の患者に適した安全で効果的な薬物療法を実践できる(DP3)。同様に、地域住民の視点に立ち、地域の保健医療のニーズを理解した上で、他職種と連携して人々の健康増進と公衆衛生の向上に貢献できる(DP4)。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー、DP)との関連性 DP3：寄与率40%，DP2：寄与率30%，DP4：寄与率30%</p> <p>関連科目 この科目を学ぶために関連の強い科目：1年次「コミュニケーション論」 3年次「薬物治療学Ⅰ、Ⅱ」 4年次「薬物治療学Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ」「実務実習事前学習Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb」 この科目を学んだあとにつなげる科目：5年次「病院薬学演習」「実務実習Ⅱ」</p>				
学修目標	<p>改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：F薬学臨床 各詳細なSBOsならびに到達度評価(4段階)が、実務実習指導・管理システムに記載されているので、詳細については、必要に応じて閲覧する。実習中は3回にわたって形成評価を行う。</p> <p>(2) 処方せんに基づく調剤 ① 法令・規則等の理解と遵守 ② 処方せんと疑義照会 ③ 処方せんに基づく医薬品の調製 ④ 患者・来局者対応、服薬指導、患者教育 ⑤ 医薬品の供給と管理 ⑥ 安全管理(医療安全と感染制御)</p> <p>(3) 薬物療法の実践 ① 患者情報の把握 ② 医薬品情報の収集と評価・活用 ③ 処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案) ④ 処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)</p> <p>(4) チーム医療への参画 ① 医療機関におけるチーム医療 ② 地域におけるチーム医療</p> <p>(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 ① 在宅(訪問)医療・介護への参画 ② 地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画 ③ プライマリケア、セルフメディケーションの実践 ④ 災害時医療と薬剤師</p>				
実務経験のある教員による教育	<p>実務実習にあたっては、実務実習調整機構等主催の認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへの参加ならびに講習会に参加し、実務実習指導薬剤師と認定された医療現場の薬剤師(外部講師)が実習生を教育・指導を行う。</p>				
評価方法	<p>①実務実習指導・管理システムで実習指導者(外部講師)により11週間中の4週、8週、11週終了ごとに到達度測定を行う。それをもとに指導者ならびに実習生相互に進捗状況を把握する。最終的には11週終了時点で別途行う指導者の評価(実習に臨む態度も含む)により採点する。また、その評価のうち、領域4ならびに5については、実習期間中に入力されたレポートと一週間振り返り(週報)をもとに評価する(約50%)。</p> <p>②教員により週報・実務実習報告書の作成状況、到達度評価の入力状況、実務実習報告書・レポートの提出状況および講座・研究室単位で開催する実務実習報告会をもとにルーブリック表を用いて採点する。なお、実務実習への取り組み姿勢も加味し、総括的に単位認定する(約50%)。</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>実習施設規則の遵守、守秘義務の遵守、実習指導者による指導の遵守。 実務実習開始の前週に、上記に関する注意や書類配布を含む説明会を行う。本説明会は実務実習Ⅰ及び実務実習Ⅱに必須であるので、遅刻、欠席をしないこと。 実務実習指導・管理システムで管理するので、各自必要事項を指示に従って入力するとともに、日々の日誌、週報、レポート等の作成に当たっては、システムを通じて行う。 実務実習の準備として行った実務実習事前学習における修得状況を自己評価したうえで、実務実習に臨むこと。</p>				
オフィスアワー	<p>実習期間中は、実務実習指導・管理システムのメールで担当教員が実務実習担当責任者へ連絡すること。内容によっては、実習センターでも良い。随時電話での対応も行うので、時間帯ごとに事前に示してある連絡先へ連絡するように。</p>				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容		授業方法	担 当

実習開始前	1)	実務実習全般に関する説明 接遇や身だしなみについて考える： 医療施設の方から話を聴く	講義	全員
1週	2)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
2週	3)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
3週	4)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
4週	5)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
5週	6)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
6週	7)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
7週	8)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
8週	9)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
9週	10)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
10週	11)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
11週	12)	実務実習に当たっては、受入れ施設の実務実習実施計画書に基づいて進行する（実務実習指導・管理システム内に収載）。 進捗状況や到達状況によっては、予定変更もある。	実務実習	全員、指導薬剤師
実習終了後		実務実習報告会	プレゼンテーション	全員

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

指定なし

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

指定なし

科目名	治験コーディネーター論	授業コード	120497A301	単位数	1単位
担当者(所属)	鈴木 彰人 (薬・薬)	時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(6年)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>病院では国際共同治験や医師主導治験が増え、最善の治療、予防につながる新たなエビデンスを生み出すための臨床研究も盛んに行われている。これらの実施には被験者をはじめ、治験や臨床研究に精通する医師やCRC（治験コーディネーター、臨床研究コーディネーター）が携わっている。CRCは質の高い治験や臨床研究の円滑な進行と運営を支援する専門家であり、薬物や薬効・薬理に関する知識だけでなく、法規範や倫理を遵守する態度、被験者への倫理的配慮等、多彩な能力を持ち合わせることを要求される。本授業では、常に患者の立場に立ち、医療チームのスタッフの役割と責任を認識して医療の進歩に貢献できるようになることを目的に（DP2）、治験の意義・仕組み及び法規範のかかわり、ならびに病院におけるCRC業務に必要な知識・態度を修得する。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー DP）との関連性 DP2：寄与率100%</p> <p>関連科目 この科目を学ぶために関連の強い科目：2年次「薬学と生命倫理Ⅰ」、3年次「薬学と生命倫理Ⅱ」、4年次「薬事関係法規Ⅰ」、5年次「実務実習Ⅱ」 この科目を学んだあとにつなげる科目：該当なし</p>				
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品の開発から承認までのプロセスを概説できる。 2) 治験の意義と仕組みについて概説できる。 3) 医療倫理に関する規範（ジュネーブ宣言）について概説できる。 4) 患者の基本的権利の内容（リスボン宣言）について概説できる。 5) 臨床研究における倫理規範の原点であるニュルンベルク綱領とヘルシンキ宣言について説明できる。 6) 医薬品医療機器等法における治験の定義について説明できる。 7) 治験の実施にかかわる法制度（GCP）について概説できる。 8) 病院における治験業務の体制及び治験実施の流れについて概説できる。（アドバンスト） 9) 病院において治験に携わるスタッフを列挙し、その役割について説明できる。 10) 治験審査委員会の役割、委員の構成、審議・運営について説明できる。 11) 治験におけるインフォームド・コンセントについて説明できる。 12) 治験におけるインフォームド・アセントについて説明できる。（アドバンスト） 13) 治験におけるCRCの主な業務について説明できる。（アドバンスト） 14) 治験に参加する被験者への配慮について説明できる。（アドバンスト） 15) 医療保険の仕組み（保険給付：保険外併用療養費）について説明できる。 16) 治験に参加する被験者に対して説明すべき事項を列挙できる。 17) 治験薬及び治験にかかわる文書を列挙し、その特徴について概説できる。 18) 治験業務の受託機関とその役割について説明できる。 <p>薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度版）： 「A 基本事項」のうち「(2) 薬剤師に求められる倫理観」、 「(4) 多職種連携協働とチーム医療」 「B 薬学と社会」のうち「(2) 薬剤師と医薬品等に係る法規範」、 「(3) 社会保障制度と医療経済」 「E3 薬物治療に役立つ情報」のうち「(1) 医薬品情報」 「F 薬学臨床」のうち「(1) 薬学臨床の基礎」、 「(4) チーム医療への参画」</p>				
実務経験のある教員による教育	科目担当者（鈴木）は、大学病院での5年以上の実務経験に基づいて、臨床的視点から治験のしくみ、治験業務及び臨床研究の意義、ならびにそれらに係る法規・制度・倫理の理解を促す。				
評価方法	期末試験の得点（100%）により単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	<p>【学習態度】 治験業務の一部については病院実務実習で見聞または体験したと思う。実務実習での修得も踏まえて能動的な学習態度が重要である。</p> <p>【演習問題】 治験に係る法規・制度、倫理、実務（CRC業務）の理解を深めるため演習問題をユニパで配信する。第12回の授業において質疑応答、解説を行う。 授業の前後および週末の21時間を使い、演習問題を用いて予習・復習を行うこと。</p>				
オフィスアワー	月・金曜日16:00～18:00 研究室：M410				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)～7)	治験とは 医薬品開発における治験の位置づけ 治験にかかわる法律と医の倫理	講義	鈴木	
2	7)～9)	病院における治験の体制 治験にかかわる業務の分担者とその定義	講義	鈴木	
3	7)～10)	治験審査委員会（IRB） - IRBの役割、IRBの委員の構成、治験事務局・IRB事務局の役割	講義	鈴木	

4	7)11)～ 13)16)17)	治験に参加する被験者の健康・福利・権利の保護 インフォームド・コンセントとインフォームド・アセント	講義	鈴木
5	7)13)～17)	治験に参加する被験者への配慮 - 負担軽減費、保険外併用療養費とその適用 治験業務と関連法規 治験にかかわるCRC業務の概要	講義	鈴木
6	7)～ 10)13)17)	CRCの治験業務 (1)： 治験開始前 - 治験実施計画書、治験薬概要書の確認 - IRBへの対応、事前ヒアリング	講義	鈴木
7	7)～9)11)～ 17)	CRCの治験業務 (2)： 治験開始時 - 治験薬の受け入れ、スタートアップミーティング - 被験者のリクルート、スクリーニング - インフォームド・コンセント (同意説明の補助) - 被験者のスケジュール管理	講義	鈴木
8	7)～9)13)～ 17)	CRCの治験業務 (3)： 被験者受診時 - 被験者のケア・対応、医師の支援 - 治験薬の調剤・調製、服薬指導 - 有害事象への対応、健康被害発生時の補償への対応	講義	鈴木
9	1)7)～ 9)13)16)17)	CRCの治験業務 (4)： 治験期間全般 - 症例報告書の作成支援 - モニタリング・監査への対応、治験実施計画書からの逸脱時の対応 - 治験終了にかかわる業務、実地調査への対応	講義	鈴木
10	1)～18)	医師主導治験 - 医師主導治験とは - 企業治験との相違 - 多施設共同医師主導治験、治験調整医師とは	講義	鈴木
11	7)～9)11)～ 18)	治験業務の受託： - 開発業務受託機関 (CRO)、治験施設支援機関 (SMO) の位置づけ 治験におけるCRCの対応 [演習] - 例示した治験の実例について、CRCがとるべき対応を考える	講義・演習	鈴木
12	1)～18)	第1回～第11回授業のまとめと演習 ・ 治験に関する用語を列挙して、CRC業務との関連を説明してみよう。 ・ 治験のプロセスに関連する医薬品医療機器等法、GCPを説明してみよう。	演習	鈴木

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

治験薬学 改訂第2版 ―治験のプロセスとスタッフの役割と責任― (亀井 淳三、鈴木彰人 編集) 南江堂 【978-4-524-40366-0】

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

CRCテキストブック第4版 (日本臨床薬理学会 編集) 医学書院 【978-4-260-04272-7】

科目名	コミュニケーション演習		授業コード	120031A301	単位数	1単位
担当者(所属)	徳永 仁 (薬・薬)、園田 純一郎 (薬・薬)、興梠 靖幸 (薬・薬)、橋本 亜衣子 (薬・薬)		時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(4年)		必修・選択	必修		
開講学期	2024年度後期		授業形態	講義、演習、ロールプレイ		
授業の概要・一般目標 ・対応するポリシーNo.	<p>コミュニケーション演習では、医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、医療従事者、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。これらの修得により、常に患者の立場に立ち、コミュニケーション能力をもって患者・患者家族・他の医療職種と相互の立場を尊重した人間関係を構築してチーム医療へ参画できる (DP2)。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマポリシー、DP) との関連性 DP2：寄与率100%</p> <p>関連科目 この科目を学ぶために関連の強い科目：1年次「コミュニケーション論」「英語コミュニケーション」 この科目を学んだあとにつなげる科目：5年次「一般用医薬品学演習」</p>					
学修目標	<p>1)相手、立場、心理的状況の多様性とコミュニケーションの取り方の違いについて説明できる。 2)言語的および非言語的コミュニケーションについて説明できる。 3)適切なコミュニケーションを行うための手技について説明できる。 4)ファーマシューティカルコミュニケーションに必要な技能について説明できる。 5)ファーマシューティカルコミュニケーションを行うための薬学的知識の必要性について説明できる。 6)敬語を適切に使用できる。</p> <p>薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：A-3-1コミュニケーション</p>					
実務経験のある教員による教育	担当教員は、いずれも医療現場での勤務経験があり、患者や医師・看護師など、医療現場のスタッフとのコミュニケーションをとりながら実務経験を積んでいる。このため、患者・来局者、他の医療従事者とのコミュニケーションを実践的に、かつ一貫して図ることができ、その経験を生かして学生に教育できる。					
評価方法	学期末の単位認定試験 (約80点)、学習への取り組みの姿勢〔課題の提出状況、授業態度〕(約20点)を総合的に評価し、60点以上を単位認定する。評価の基準は授業開始日に説明する。ALでは、予習または復習のための教材を与える。ロールプレイでは、コミュニケーションがスムーズに行われるように資料を用意する。疑問があれば個別に対応できるため、オフィスアワーを利用するように。					
準備学習・履修上の注意等	毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計21時間の予習復習を行うこと。予習の具体例としては、配布プリントの内容に関してあらかじめシミュレーションするなどである。復習の具体例としては、配布プリントの内容に関してロールプレイを行うことなどである。演習、ディスカッションでは積極的に参加すること。私語はしないこと。					
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日 各教員が示しているオフィスアワーに準じる。					
授業計画						
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当		
1	2)3)4)6)	【医療コミュニケーション①】 医療の場における適切な敬語の用い方を実践する①。	講義・演習	徳永		
2	2)3)4)6)	【医療コミュニケーション②】 医療の場における適切な敬語の用い方を実践する②。	講義・演習	徳永		
3	1)5)	【医療コミュニケーション③】 医療の場におけるコミュニケーションスキルアップについて。	講義・演習	徳永		
4	4)5)	【医療コミュニケーション④】 医療薬剤業務における患者及び他の医療職種との適切なコミュニケーション形成について。	講義・演習	徳永		
5	1)5)	【がん領域におけるコミュニケーション①】 がん疼痛緩和をテーマに、病態・薬物療法の知見と関連付けてコミュニケーションを学ぶ。	講義・演習	興梠		
6	1)5)	【がん領域におけるコミュニケーション②】 がん疼痛緩和をテーマに、病態・薬物療法の知見と関連付けてコミュニケーションを学ぶ。	講義・演習	興梠		
7	1)4)	【ファーマシューティカルコミュニケーションの基礎】 価値観の多様性と自己尊重のコミュニケーションについて。	講義	園田		
8	4)5)	【ファーマシューティカルコミュニケーションの基礎】 ファーマシューティカルケアとファーマシューティカルコミュニケーションの必要性。	講義	園田		
9	1)2)3)4)	【模擬患者とのコミュニケーション演習①】 模擬患者とのシミュレーション〈信頼関係構築のためのコミュニケーションの必要性を感じ取る。〉	演習	園田		
10	1)2)3)4)	【模擬患者とのコミュニケーション演習②】 模擬患者とのシミュレーション〈信頼関係構築のためのコミュニケーションの必要性を感じ取る。〉	演習	園田		

11	1)2)4)5)	【模擬患者とのコミュニケーション演習③】 模擬患者とのシミュレーション〈信頼される薬剤師となるためのための薬学的知識の必要性を感じ取る。〉	演習	園田
12	1)2)4)5)	【模擬患者とのコミュニケーション演習④】 模擬患者とのシミュレーション〈信頼される薬剤師となるためのための薬学的知識の必要性を感じ取る。〉	演習	園田
教科書（著者名）出版社名【ISBN】				
授業時に配布するプリントを使用する。				
参考書（著者名）出版社名【ISBN】				
使用しません。				

科目名	動物医療コミュニケーション	授業コード	121601B301	単位数	2単位
担当者(所属)	甲斐孝行 (非常勤講師)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	【概要】 事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。(DP(2)、CP1(3))				
学修目標	1. クライアントエデュケーション 1) 適正飼養について理解し、健康管理のため必要な情報を飼い主に提供できる 2) 動物と飼い主が良好な関係を構築する方法について理解する 3) 病気の適切な予防法(予防接種、フィラリア予防、ノミ・ダニ予防、歯科予防、去勢・不妊手術など)について理解する 4) 在宅看護等におけるコミュニケーション技能について理解する 2. 院内コミュニケーション 5) 飼い主への指導を主体としたインフォームドコンセントについて理解する 6) 獣医療面接のプロセス(導入、稟告、質問、傾聴、要約、確認、終結など)について理解する 7) チーム獣医療に関するコミュニケーション技能(報告・連絡・相談)について理解する 3. 院内業務 8) 受付業務(診療受付、電話対応、清算、トラブル対応など)について理解する 9) 物品購入や管理について理解する 10) ペット保険について理解する"				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、十分な動物臨床経験のある教員で、実務経験に基づき、授業を行う。				
評価方法	レポート(50%)・授業態度(50%)などを総合的に判断し評価を行う。				
準備学習・履修上の注意等	解剖学、生理学などの基礎科目で修得した知識が必要となるので、各自基礎科目の予習・復習をしておくこと。次回の授業内容について疑問点を整理する等の予習をして授業に臨み、受講後も要点をまとめる等の復習をすること。				
オフィスアワー	講義前後の可能な時間				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	適正飼養	講義	甲斐	
2	1)	健康管理のため必要な情報の飼い主への提供	講義	甲斐	
3	2)	動物と飼い主が良好な関係を構築する方法	講義	甲斐	
4	3)	病気の適切な予防法(予防接種、フィラリア予防、ノミ・ダニ予防、歯科予防、去勢・不妊手術など)①	講義	甲斐	
5	3)	病気の適切な予防法(予防接種、フィラリア予防、ノミ・ダニ予防、歯科予防、去勢・不妊手術など)②	講義	甲斐	
6	4)	在宅看護等におけるコミュニケーション技能	講義	甲斐	
7	5)	飼い主への指導を主体としたインフォームドコンセント	講義	甲斐	
8	6)	獣医療面接のプロセス(導入、稟告、質問、傾聴、要約、確認、終結など)①	講義	甲斐	
9	6)	獣医療面接のプロセス(導入、稟告、質問、傾聴、要約、確認、終結など)②	講義	甲斐	
10	7)	チーム獣医療に関するコミュニケーション技能(報告・連絡・相談)	講義	甲斐	
11	8)	受付業務(診療受付、電話対応、清算、トラブル対応など)	講義	甲斐	
12	9)	物品購入や管理	講義	甲斐	
13	10)	ペット保険	講義	甲斐	
14	1-10)	まとめ①	講義	甲斐	
15	1) -10)	まとめ②	講義	甲斐	
教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】					
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 動物栄養学/動物外科看護学/動物医療コミュニケーション (一般社団法人日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会 編) エデュワードプレス 【ISBN:978-4-86671-162-1】					
参考書(著者名) 出版社名 【ISBN】					
適宜、紹介する。					

科目名	畜産学	授業コード	121616B301	単位数	2単位
担当者(所属)	小林 郁雄 (非常勤講師)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(3年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>【概要】産業動物の歴史や品種、栄養、飼養管理法、育種、畜産物、家畜の生産機能、畜産経営および畜産物の流通について、基礎的部分を習得するとともに畜産物生産に関する関連法規を学びます。公務員(畜産職、衛生職)や動物園、牧場、畜産企業、食品会社、飼料会社、JA等に就職を希望する学生や大学院への進学を希望する学生の畜産に対する理解と興味を深める。</p> <p>【GIO】畜産学および産業動物飼養管理に関する重要かつ基本的事項についての知識を習得する。</p>				
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)畜産学および産業動物について説明することができる。 2)家畜の消化器の形態と機能、食性、性周期と繁殖生理について説明することができる。 3)畜産物、その安全性およびその流通について説明することができる。 4)産業動物の生産機能について説明することができる。 5)家畜の栄養と飼料について説明することができる。 6)産業動物の育種について説明することができる。 7)伴侶動物(一部)及び産業動物の飼養管理について説明することができる。 8)畜産経営について説明することができる。 9)畜産物生産に関する法規について説明することができる。 				
実務経験のある教員による教育	獣医師としての経験を活かした授業を展開する。				
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。確認テストの成績を33点、課題提出の成績を33点、学習への取り組み姿勢や学期末の単位認定試験の成績を34点として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	<p>【予習】教科書の該当部分を読んで、わからない語句や理解できない表現を調べておく。</p> <p>【復習】授業で取り扱った部分をノート等にまとめておき、期末試験に備える。</p> <p>確認テストの結果と授業資料は後日返却及び配布します。これらのフィードバックはチューター面談にも使用されるので、必ず各自で保管すること。</p>				
オフィスアワー	授業の前後における休憩時間				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)3)	我が国および宮崎の畜産 畜産業(馬、牛、綿羊、山羊、豚、鶏)	講義	小林	
2	1)	家畜生産の意義(家畜とは、畜産/畜産と環境)	講義	小林	
3	2)	家畜の形態、機能、繁殖	講義	小林	
4	1)3)	畜産物の利用Ⅰ(乳製品/肉製品)	講義	小林	
5	1)3)	畜産物の利用Ⅱ(卵/機能性畜産物)	講義	小林	
6	1)4)	家畜の生産機能Ⅰ(乳生産)	講義	小林	
7	1)4)	家畜の生産機能Ⅱ(肉生産/卵生産)	講義	小林	
8	1)4)5)	栄養と飼料Ⅰ(栄養素/栄養学)	講義	小林	
9	1)4)5)	栄養と飼料Ⅱ(栄養素の代謝/飼養標準)	講義	小林	
10	1)3)4)5)	飼養管理法(飼育設備/アニマルウェルフェア)	講義	小林	
11	1)6)	家畜の品種と改良Ⅰ(遺伝と育種) 産業動物の種類および品種	講義	小林	
12	1)6)	家畜の品種と改良Ⅱ(家畜の改良技術)	講義	小林	
13	1)3)	安全な畜産物の生産(畜産衛生/畜産物の衛生管理)	講義	小林	
14	1)8)	畜産経営と畜産物の流通(日本の畜産の方向/生産の形態と経営)	講義	小林	
15	1)7)9)	家畜飼養の実際(養鶏/養豚/酪農/肉牛/その他/関連法規) 飼養管理法	講義	小林	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】					
指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】					
畜産学入門(唐澤豊、大谷元、菅原邦生)文永堂出版【978-4-8300-4123-5】					

科目名	組織学	授業コード	121715B301	単位数	2単位
担当者(所属)	近藤 照義 (非常勤講師)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1年次)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義、SGD		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	動物の体の正常な基本構造を知ることが獣医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。組織学では、呼吸器系・泌尿器系・生殖器系・内分泌系・神経系・感覚器系に属する主な臓器の肉眼解剖レベルおよび顕微解剖レベルでの構造と機能に関する基礎的知識を修得する。授業は、講義およびバーチャルスライドを用いたスモールグループディスカッション (SGD) で進められる。				
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸器系の主な臓器の構造と機能について説明できる。 鼻腔・気管・肺をバーチャルスライドで観察し、それらの構造はどのようになっているのか。 泌尿器系の主な臓器の構造・機能について説明できる。 腎臓を肉眼及びバーチャルスライドで観察し、それらの構造はどのようになっているのか。 生殖器系の主な臓器の構造と機能について説明できる。 精巣・卵巣・子宮・胎盤をバーチャルスライドで観察し、それらの構造はどのようになっているのか。 内分泌系の主な臓器の構造と機能について説明できる。 下垂体・甲状腺・副腎・膵臓をバーチャルスライドで観察し、それらの構造はどのようになっているのか。 神経系の構造と機能について説明できる。 脊髄・脊髄神経節・坐骨神経をバーチャルスライドで観察し、それらの構造はどのようになっているのか。 感覚器系の主な臓器の構造と機能について説明できる。 眼球・皮膚をバーチャルスライドで観察し、それらの構造はどのようになっているのか。 				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、臨床現場での5年以上の実務経験に基づき、解剖学者としての実務経験を活かした授業を行う。				
評価方法	授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢（確認小テストやテスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度）の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、総合的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	教材として毎回プリントを配布するので、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認小テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。				
オフィスアワー	月曜日 13:00～17:00 研究室にて				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	呼吸器系1：鼻腔・気管・肺の構造と機能を理解する。	講義	近藤	
2	2)	呼吸器系2：鼻腔・気管・肺の標本観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
3	3)	泌尿器系1：腎臓の構造と機能を理解する。	講義	近藤	
4	4)	泌尿器系2：腎臓の標本観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
5	4)	泌尿器系3：ブタの腎臓の肉眼による観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
6	5)	生殖器系1：精巣・卵巣・子宮・胎盤の構造と機能を理解する。	講義	近藤	
7	6)	生殖器系2：精巣・卵巣・子宮・胎盤の標本観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
8	7)	内分泌系1：下垂体・甲状腺・上皮小体の構造と機能を理解する。	講義	近藤	
9	8)	内分泌系2：下垂体・甲状腺の標本観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
10	7)	内分泌系3：副腎・膵臓の構造と機能を理解する。	講義	近藤	
11	8)	内分泌系4：副腎・膵臓の標本観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
12	9)	神経系1：中枢神経系と末梢神経系の構造と機能を理解する。	講義	近藤	
13	10)	神経系2：脊髄・脊髄神経節・坐骨神経の標本観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
14	11)	感覚器系1：眼球・皮膚の構造と機能を理解する。	講義	近藤	
15	12)	感覚器系2：眼球・皮膚の標本観察を行い、レポートを作成する。	講義、SGD	近藤	
教科書（著者名）出版社名【ISBN】					
日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会）エデュワードプレス【4-86671-155-3】 入門組織学（牛木 辰男）南江堂【4-524-21134-0】 新編 家畜比較解剖図説 上巻（加藤 嘉太郎・山内 昭二）養賢堂【978-4-8425-0340-0】 新編 家畜比較解剖図説 下巻（加藤 嘉太郎・山内 昭二）養賢堂【978-4-8425-0341-7】					
参考書（著者名）出版社名【ISBN】					
カラーアトラス獣医解剖学 増補改訂版 上巻（同書編集委員会）チクサン出版【978-4-88500-671-5】					

科目名	生命医科学概論		授業コード	110196B501	単位数	2単位
担当者(所属)	池脇 信直 (生命医科:生・医) (主担当) 前田 和彦 (生・医) 三苦 純也 (生・医) 山本 成郎 (生・医) 竹ノ内 博之 (生・医) 野村 創 (生・医) 宮本 朋幸 (生・医) 薬師寺 宏匡 (生・医) 二 反田 隆夫 (生・医) 西森 誠 (生・医) 芝原 一樹 (生・医)		時 間 数	30	AL科目	『○』
配当学科(学年)	生命医科学科(1年)		必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期		授業形態	講義		
授業の概要・一般目 標・対応するポリシーNo.	生命医科学とは、生命と医療の根源的な問いにアプローチする学問である。特に、医療の実践と進歩に貢献できる臨床検査技師、細胞検査士、生命医科学研究者になるために、生命に対する深い関心と確かな倫理観を科学的に理解できる能力を修得する (DP1,2,3,5,6,8,9 CP1-1,CP2-1)。授業は臨床検査技師教育プログラムコースの各教員が生命医科学のトピックを紹介する形で進める (CP1-1,1-4,2-1)。授業終了後は課題を提供すると共に、その課題解決に向けたスモールグループディスカッション (SGD) を行う (DP5,8 CP2-1)。また、簡単な生命医科学のデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング (AL) を行う (DP5,6,8,9 CP2-1)。					
学修目標	1) 生命医科学の基本的な考え方が説明できる。 2) 生命医科学における倫理観が説明できる。 3) 臨床検査技師、細胞検査士、生命医科学研究者の役割が説明できる。 4) 生命医科学のトピックが説明できる。 5) 課題解決に対する積極的なSGDが実施できる。					
実務経験のある教員 による教育	科目担当の各教員は大学病院や医療系企業で10年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。					
評価方法	毎回の授業終了後に理解度テストを行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。学習への取組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発現などの授業への参加)を50%、学期末の定期試験を50%として単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。					
準備学習・履修上の 注意等	授業は主にプロジェクター用いて生命医科学トピックを紹介する。また、生命医科学に関するミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う。予習としては、参考書等を用いてその単元について前もって詳しく調べておくこと(反転授業)。復習としては、毎回の理解度テスト、講義ノート、講義プリント、資料を読み返し、理解を深めること。1回の授業につき4時間以上を目安に予習と復習を行うこと。					
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室					
授 業 計 画						
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1)～5)	生命医科学の概要説明	講義・SGD	池脇		
2	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	芝原		
3	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	宮本		
4	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	二反田		
5	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	西森		
6	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	薬師寺		
7	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	前田		
8	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	野村		
9	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	三苦		
10	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	山本		
11	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	竹ノ内		
12	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	池脇		
13	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	池脇		
14	1)～5)	生命医科学のトピック紹介	講義・SGD	池脇		
15	1)～5)	まとめ	講義・SGD	池脇		
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】						
使用しません。						
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】						
資料(プリント)を配付します。 参考書と参考文献を紹介します。						

科目名	医療英語	授業コード	110019B204	単位数	2単位
担当者(所属)	吉武 重徳 (臨心)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	生命医科学部(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	コメディカルとしての医療専門英語の語彙、聴き取り能力、表現能力、writing skill等を総合的にプラクティスする。				
学修目標	学修目標 1)医療英単語の特徴を既知の単語と関連づけ列挙する。 2)英語構文についてその構成を吟味する。 3)英語アレルギーを克服して身近に感じてみる。 4)英語で表現してみる。				
実務経験のある教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。				
評価方法	授業における教官による行われる質疑応答態度、および毎回の小テストによる評価。				
準備学習・履修上の注意等	各授業における小テストの内容に対して各回復習を確実にし習得すること。 小テストの内容が提示された場合は、確実に内容の習得を行い授業に参加すること。 各課題提出がある場合は、次回講義までに予習をし準備していること。				
オフィスアワー	金曜日11:00~12:30 研究室B-331				
授 業 計 画					
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武	
2	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武	
3	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武	
4	3)4)	【英語で表現してみる2】 日常生活での身の回りの出来事を英語で表現する。	講義	吉武	
5	1)	【医療英語の語彙をみる1】 テキストを使用。見て、聴いて、書いて、習得する。	講義	吉武	
6	1)	【医療英語の語彙をみる1】 テキストを使用。見て、聴いて、書いて、習得する。	講義	吉武	
7	2)3)4)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武	
8	2)3)4)	【英語の論文を読む2】 英文をみて、日本語との構造の違い、さらに考え方の違いを見てみる。	講義	吉武	
9	2)3)4)	【英語の論文を読む3】 英文をみて、日本語との構造の違い、さらに考え方の違いを見てみる。	講義	吉武	
10	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武	
11	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武	
12	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武	
13	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武	
14	1)2)	【医療用の英語教材について】 英語をさらにbrush upするためには？効率よく、集中して。その方法を例示するので考えてみる。	講義	吉武	
15	1)2)3)4)	【医療人としての英語力】 医療を行ううえで、どのくらいの英語の力が必要なのか？表現力、読解力、発音力などから考えてみる。	講義	吉武	
教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】					
東大病院発 医療スタッフのための英会話 ISBN-13: 978-4860644758					

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

使用しない。

科目名	医用機器工学		授業コード	120121b501	単位数	2単位
担当者(所属)	木塚 俊和 (非常勤講師)		時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床工学科(3年)		必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期		授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>検査、診断、治療などの医療分野ではさまざまな機器が使用されている。これら機器を正しく使い、とっさの場合の適切な対応、或いは正しいメンテの為に機器の機構、動作に関する原理原則的な機械工学の知識、物の見方、考え方が必要である。</p> <p>本講座ではこれらのベースとなる、力学、材料力学、流体力学、波動、熱力学等についての基本知識、考え方を習得する。更に、人体を機械と同じ観点でとらえ、その機能や動作原理を工学的に考える力を修得する(DP(2)、DP(4))。</p> <p>毎回の講義末の習熟度把握の為に小テスト、講義中での多くの練習問題に取り組むことで、取得知識、考え方の深耕を図り、臨床工学技士の国家試験合格を目指す(CP2)。</p>					
学修目標	<p>①力学の基礎：力とこれによる運動と仕事、及びエネルギーとの関係について基本原理が説明できる。</p> <p>②固体材料の変形と強度：材料の弾性的性質、強度、及び破壊現象についての基本が説明できる。</p> <p>③流体とその流れ：液体、及び気体流れに関する原理原則を理解し、生体系での流れに関する基本的な考察ができる。</p> <p>④波動：波動(音波)の概念、性質と波動(超音波等)を応用した機器の基本原理が説明できる。</p> <p>⑤熱と熱力学：熱に関する現象を熱エネルギーの概念で理解し、熱に関する医療機器及び生体系での熱の流れに関し、基本的な原理、挙動が説明できる。</p>					
実務経験のある教員による教育	科目担当者は長年(40年)化学系企業で技術開発、設備管理業務を経験してきており、講座関連の実例も紹介しながら授業を行う。					
評価方法	<p>講義日の2コマ目終わりに理解度確認の短時間の小テストを行う。又、講義の途中でも適宜、練習問題に取り組むことで学習内容の確実な定着を図るようにする。小テスト、練習問題は順不同で指名、解答を求めるが、その正誤は大きな問題ではなく、いかに授業に真剣に参画し、考えているかを評価の対象とする。小テスト、練習問題の正解については後で講師より詳しく解説する。これら小テスト、練習問題で~20%、学期末の単位認定試験で80%~として、総合評価を行う。総合評価60%以上で合格とする。やむを得ず欠席した者には次回出席した時に小テスト問題を配布、その次の講義日に提出してもらい、評点に反映する。</p>					
準備学習・履修上の注意等	必ず、教科書・配布プリントの予習、復習を行い、演習問題(教科書、及びプリント)にも取り組むこと。1コマあたり、予習、復習で4時間を目安として勉強すること。欠席が1/3を超えた場合は評価の対象とならない。					
オフィスアワー	講義日の1コマ目の講義前(12:30~)、及び1コマ目と2コマ目開始の間(14:40~14:55) いずれも2階の教員事務所					
授 業 計 画						
回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	①	<p>【医用機器工学とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医用機器工学を学ぶ意義を認識し、物理法則と単位、及び次元の関係を理解する。 <p>【力学の基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力の定義、ニュートンの運動の法則、力のベクトルについて理解する。 	講義/演習	木塚		
2	①	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な力(重力、引力、摩擦力)、及び剛体に働く力の釣り合いを理解、斜面に置かれた物体の釣り合いを図と式で表す。 	講義/演習	木塚		
3	①	<ul style="list-style-type: none"> ・力と運動、いろんな運動と力(等速運動、等加速度運動、円運動等)について数式を理解し、計算する。 ・慣性力、遠心力の意味を理解し、円運動の釣り合い条件を式で表す。 	講義/演習	木塚		
4	①	<ul style="list-style-type: none"> ・力と仕事の関係、及び力学的エネルギーを理解し、エネルギー保存則を用いて位置エネルギーと速度エネルギーの計算をする。 ・力学の基礎の総復習と演習により知識を再確認する。 	講義/演習	木塚		
5	②	<p>【固体材料の変形と強度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾性と塑性、応力について意味を正確に理解する。 ・縦ひずみと横ひずみ、せん断ひずみ、縦弾性係数について理解し、応力とひずみの概略相関線図を作成する。 	講義/演習	木塚		
6	②	<ul style="list-style-type: none"> ・安全率の意味、体積弾性率、梁の強さ/軸の強さの式を理解し、梁の曲げ時の発生応力を図により確認する。 ・材料の大変形による破局的破壊のメカニズム、トライボロジーの概要を理解、復習と演習を通じ知識を再確認する。 	講義/演習	木塚		
7	③	<p>【流体とその流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧力、パスカルの原理、絶対圧とゲージ圧について理解し、Pa、気圧、水銀柱の換算計算を行う。 	講義/演習	木塚		
8	③	<ul style="list-style-type: none"> ・連続の式、圧力差による流れ(トリチェリー、ベルヌーイの式)を理解し、水管内の静圧、全圧の計算を行う。 ・粘性流体の流れ(ニュートン流体、ハーゲンポアゼイユの法則等)を理解し、配管内流量を計算する。 	講義/演習	木塚		
9	③	<ul style="list-style-type: none"> ・層流と乱流の違いを理解し、毛細血管内の流れの判定をする。 又粘度計の原理を理解する。 ・液滴の形成条件を理解し、液滴径と流量を計算する。 	講義/演習	木塚		

		<ul style="list-style-type: none"> 又ポンプの類別をし、適切な選定を行う。 総復習と演習により知識を再確認する。 		
10	④	【波動】 <ul style="list-style-type: none"> 横波、縦波の特徴を理解し、縦波を横波表記する。波の図からその速度と周期等を計算する。波のエネルギー要因を知り、波の速度と媒質弾性率の関係の重要性を確認する。 波の反射、透過、屈折についてホイヘンスの原理を用い図で説明する。 	講義/演習	木塚
11	④	<ul style="list-style-type: none"> 音波と超音波の性質と属性について理解し、反射/透過に関する音響インピーダンスの重要性を式により確認する。 ドブラ効果についての原理を理解、血流測定などの実際の応用例について知る。 音波の干渉とうなりについて原理を理解する。 総復習と演習により知識を再確認する 	講義/演習	木塚
12	⑤	【熱と熱力学】 <ul style="list-style-type: none"> 熱、温度、熱に関する基本的な用語、物理量を理解し、伝導、対流、放射による熱の移動を数式で組み立て、評価する。 	講義/演習	木塚
13	⑤	<ul style="list-style-type: none"> 身体の熱移動と体温調節のメカニズムを理解する。 温度と相の変化に関する用語、熱膨張の式を理解する。気体の状態方程式を使い容積/圧力/温度の関係を計算する。 	講義/演習	木塚
14	⑤	<ul style="list-style-type: none"> 熱と仕事の関係、及び熱力学の第一法則を数式で表現する。第二法則について理解する。 熱機関とエントロピー関連の用語を理解し、熱効率の計算をする。 総復習と演習により知識を再確認する。 	講義/演習	木塚
15	①~⑤	【医用機器工学総復習及び演習】 <ul style="list-style-type: none"> 総復習、演習により知識を再確認する。 	講義/演習	木塚

教科書（著者名）出版社名 【ISBN】

臨床工学講座 医用機械工学 著 嶋津秀昭、馬淵清資 医歯薬出版株式会社 【ISBN】 978-4-263-73425-4
 その他 配布プリント

参考書（著者名）出版社名 【ISBN】

使用しない。

科目名	医学概論	授業コード	110152B501	単位数	2単位
担当者(所属)	吉武 重徳 (臨床心理学科)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	生命医科学部(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	"著しい進歩をとげる医療を学ぶうえで、医学の根底をなす、治療を提供する側と受ける側にとって医学そして臨床とは、何であるべきかを、過去から現在、未来を見据えて、網羅的に学習を行う。さらに、社会的、法律的観点から、医の倫理、医療事故と対策などを、また医学を取り囲む環境からの視点から、医療の一翼を担ううえで、如何に接していけば良いのかを考えていく。				
学修目標	学修目標 ①大学で学ぶ、とは何かを考えてみる。 ②目の前でヒトが倒れたらどうすべきか説明できシミュレートできる。 ③新しい医療の進歩について説明できる。 ④コメディカルとして医療法規を説明できる。				
実務経験のある教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。				
評価方法	授業における教官による行われる質疑応答態度(10%)、最終試験(90%)。				
準備学習・履修上の注意等	授業における内容に対して各回復習を確実にし習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。				
オフィスアワー	金曜日11:00~12:30 研究室B-331				

授 業 計 画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担 当
1	①②	【イントロダクション：目の前で人が倒れたら】BLS(basic Life Support)について、目の前で人が倒れたら、医療を志す者としてどうすべきか？	講義	吉武
2	①②	【心肺蘇生法；学習とスキル】前回の学習したことをもとにして、実際のマネキンで実習して、自身で正しく行えるか考えてみる。	講義	吉武
3	①	【学習の目的：GIOとSBO】GIOとSBOとは何か？実際の事例を提示して学習する。	講義	吉武
4	①③	【病気とは？】一般に考えられている、病気から、さらに一歩進んで、どのように医療側が取り組んでいるのか学習する。	講義	吉武
5	①③	【健康と環境】健康と環境との関係を学習して、身近な事例を考える。	講義	吉武
6	①③	【GIOとSBO】前回の学習を踏まえ、大学生活の中で、どのように習得して、医療人として成長すべきなのか考える。	講義	吉武
7	①③	【医療モデル】医療の形成にどのような過程があり、最終的なユーザーである患者に供給されているのかを考えてみる。	講義	吉武
8	③④	【医療過誤】医療事故といったものが、何であるのかを学習する。	講義	吉武
9	③④	【ヒヤリハットから考える】前回の学習事項を踏まえ、ヒヤリハットの事例から考え、防止するのかを討論する。	講義	吉武
10	③④	【機器を通しての医療】医療機器の進歩により、恩恵とデメリット、さらに限界について考えてみる。	講義	吉武
11	③④	【治療法の決定】医療現場で治療の決定がどのようになされ患者さんに返されているのか？学習する。	講義	吉武
12	③④	【ヒトゲノム計画】遺伝子の地図が何か、これからどのように医療が変わっていくのか？倫理的な問題は、などを考えてみる	講義	吉武
13	③④	【移植医療】臓器移植の恩恵と限界について考えてみる。	講義	吉武
14	③④	【医療法規】医療現場の中で、法律がどのようにはたらいているのか？考えてみる。	講義	吉武
15	①③④	【現代における感染症】医療環境を取り巻く、感染症について基本的なことから考えて何が必要なのかを学習する。	講義	吉武

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

医療概論—医療従事者のコンセンサス14章 ISBN-13: 978-4883786787

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない。

科目名	嚥下障害学Ⅱ	授業コード	121642B601	単位数	2単位
担当者(所属)	中村 真理子 (臨心・臨心)・倉澤 美智子 (臨心・臨心)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)	必修・選択	必修		
開講学期	2024年度前期	授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	本講義は、利用者本位の言語聴覚士になるための最重要領域として、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得するために、摂食嚥下障害に関わる一連の評価(スクリーニング、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食評価)について演習を通じて学び、摂食嚥下機能の評価と問題点の抽出、訓練プログラムが作成できる、高い技能を習得する(DP1-5)。				
学修目標	1)摂食・嚥下障害のスクリーニング検査が実施できる。 2)嚥下造影検査および嚥下内視鏡検査の概要と方法が説明できる。 3) 嚥下造影検査及び嚥下内視鏡検査の動画を見て、摂食・嚥下機能における問題点を抽出できる。 4)摂食評価において、姿勢やベッドアップ角度の調節など、患者の摂食環境を整えることができる。 5)摂食評価において、患者が経口摂取できる食物形態とその調節について理解ができる。 6)口腔ケアの方法、義歯の管理方法について理解が出来る。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。また、科目担当者(倉澤)は言語聴覚士として5年以上の臨床経験を有する。				
評価方法	出席回数、講義態度、課題レポート提出等の形成的評価と、単位認定試験における論述試験の結果による統括的評価の2つを実施する。				
準備学習・履修上の注意等	言語聴覚士の最重要領域を学修として、頭頸部の解剖、神経学的知識に関する内容を含む、各回の予習・復習を1時間以上(2時間が望ましい)をしてください。また、学外臨床実習や臨床では、本講義で学んだことだけでは不十分です。日頃の摂食・嚥下障害に関する知識の向上が必要になります。				
オフィスアワー	毎週火・水・木曜日 12:30~13:00				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション、摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(1) 概要	講義・演習	中村
2	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(2) 水飲みテスト・改訂水飲みテスト	演習	中村
3	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(3) 反復唾液嚥下テスト	演習	中村
4	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(4) 歯科学的評価	演習	中村
5	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(5) 問診・質問紙による評価	演習	中村
6	2)	嚥下造影検査の原理と方法・観察評価	講義・演習	中村
7	2)	嚥下内視鏡検査の原理と方法・観察評価	講義・演習	中村
8	2) 3)	フードテストの方法と評価(1)	演習	倉澤
9	2) 3)	フードテストの方法と評価(2)	演習	倉澤
10	4) 5)	段階的摂食評価(1)	演習	倉澤
11	4) 5)	段階的摂食評価(2)	演習	倉澤
12	6)	口腔ケア(1)	演習	中村
13	6)	口腔ケア(2)	演習	中村
14	6)	義歯の管理	演習	中村
15	1)~6)	事例検討	演習	中村

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

見える!わかる!摂食嚥下のすべて—神経・嚥下5期・アセスメント・検査・治療・食事がつながる 学研メディカル秀潤社【978-4-780-91393-4】

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

特に指定しない

科目名	医療ソーシャルワーク論	授業コード	120135B101	単位数	2単位
担当者(所属)	川崎 順子 (福・福)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床心理学部 臨床心理学科 (3年)	必修・選択	選択		
開講学期	2024年度後期	授業形態	講義 演習		
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	超高齢社会を迎えた日本の医療現場は、治療重視の医療モデルから病気と共に生きる生活モデルへと変化している。そのような状況のなか、医療現場で患者を支える医療ソーシャルワーカーへの役割が求められている。そのため医療ソーシャルワーク論では医療ソーシャルワーカーの価値や倫理を学び医療ソーシャルワーカーの役割を明確にし実践の場で患者やその家族に寄り添った支援ができることを目標とする。 (心理DP(3)(5)(6))				
学修目標	1.「病む」ことによって経験する多様な課題を理解する。 2.多様な援助者の一人として医療ソーシャルワーカーに焦点付け、医療ソーシャルワーカーの援助活動の概要を説明できる。 3.「病む」人に対する支援について、システムや制度、政策による支援について理解し考察する。 4.病院機能別について、具体的な支援の在り方を理解し医療ソーシャルワーカーの立ち位置を考察する。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は社会福祉士の有資格者として、5年以上の実務経験に基づきその経験を通し医療ソーシャルワーカーとして必要な知識、技術、価値の修得を目的とした授業を行う。				
評価方法	定期試験により評価する。				
準備学習・履修上の注意等	社会福祉士の資格取得を希望し、ソーシャルワーク実習を履修済みのもの。 4年次の医療ソーシャルワーク実習を履修・希望する者は必修する。 1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習を行うこと。				
オフィスアワー	16時30分～17時30分。ただし木、実習期間中は除く。				

授業計画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	医療における社会保障政策の動向と医療ソーシャルワーカーの役割を理解する。	講義	川崎
2	2)	医療ソーシャルワークの成立の経過と今後の課題を理解する。	講義	川崎
3	2)	医療ソーシャルワークの業務指針と価値と倫理について理解する。	講義	川崎
4	1)	医療ソーシャルワーカーに必要な医学的知識を理解する。	講義	川崎・外部講師
5	1)2)	病院の機能と医療ソーシャルワーカーの業務内容を理解する。	講義	川崎・外部講師
6	3)	診療報酬について学び、そのプロセスを理解する。	講義	川崎・外部講師
7	1)2)3)	生活機能障がい者の苦しみを理解し、事例をとおして支援の在り方を探る。	講義	川崎
8	1)2)3)	医療における「家族」を理解するための視点や支援の方法を事例で理解する	講義	川崎
9	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。①	SGD	川崎
10	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。②	SGD	川崎
11	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。③	SGD	川崎
12	4)	医療の場で活躍する実践者を招聘し、倫理的ジレンマ等の実際を知る。	講義	川崎
13	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。①	施設見学	川崎
14	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。②	施設見学	川崎
15	2)	総括 医療ソーシャルワーカーの役割を説明することができる。	講義	川崎

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

よくわかる医療福祉 ミネルヴァ書房
 保健医療ソーシャルワークの基礎 -実践力の構築- 公益財団法人 日本医療社会福祉協議会編

ソーシャルワークの基盤と専門職 I

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

本講座では、社会福祉士と精神保健福祉士いずれの専門職にも共通して求められるソーシャルワークの基盤となる概念や専門性を理解することを目標とします。(DP4)

したがって、社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけやそれぞれの役割と意義を学び、専門性を理解していきます。これまでの実践と理論化により獲得してきたソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、ソーシャルワークの歴史的形成過程を学びます。(DP1・DP4・DP5)

そのことから、今日求められている「総合的かつ包括的な支援」の全体像を理解し、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能の内容を学び、専門職としてのあり方を考えていきます。(DP2)

全体を通して、ソーシャルワークの専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになりましょう。(DP2・DP3・DP4)

到達目標

- 1) 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。
- 2) ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。
- 3) ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当（川崎）は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、ソーシャルワークの基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰは、テキスト第1章から第5章を範囲とする。

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱは、テキスト第6章から第8章を範囲とする。

第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ

社会福祉士及び介護福祉士法の理解（定義・義務・法制度成立の背景等）

精神保健福祉士法の理解（定義・義務・法制度成立の背景等）

社会福祉士及び精神保健福祉士に求められるコンピテンシー

第2章 ソーシャルワークの概念

ソーシャルワークの定義

ソーシャルワークの構成要素

第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方

ソーシャルワークの原理

社会正義・人権尊重・集団的責任・多様性の尊重

ソーシャルワークの概念

当事者主権・尊厳の保持・権利擁護・自立支援・エンパワメント・ノーマライゼーション

ソーシャルインクルージョン・

第4章 ソーシャルワークの形成過程

ソーシャルワークの源流と基礎確立期

ソーシャルワークの発展期

ソーシャルワークの展開期と統合化

日本におけるソーシャルワークの形成過程

第5章 ソーシャルワークの倫理

専門職倫理の概念

倫理綱領

ソーシャルワーカーの倫理綱領

社会福祉士の倫理綱領

精神保健福祉士の倫理綱領

倫理的ジレンマ

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

本講座では、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰで学んだことを土台として、社会福祉士の専門性をさらに深める内容を学びます。具体的には、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を理解し、ソーシャルワーク対象レベル（ミクロ・メゾ・マクロ）への支援の実際と関連性を理解していきます。（DP1・DP4）

そのことから、ジェネラリストの視点で総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容を深めていき、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能や専門職としてのあり方を考えていきます。（DP5）

全体を通して、ソーシャルワーク専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになりましょう。（DP2・DP3）

添削課題は、テキストを基本として作成しています。各章に該当するテキスト巻末の索引を利用して、テキストを活用しながら添削課題に取り組み、全体を把握するようにしてください。

到達目標

- 1) 社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。
- 2) ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。
- 3) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。
- 4) 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当（川崎）は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、ソーシャルワークの基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰは、テキスト第1章から第5章を範囲とする。
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱは、テキスト第6章から第8章を範囲とする。

第6章 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲

社会福祉士の職域と役割
多様な組織・機関・団体における専門職
諸外国の動向

第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク

ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象
ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開

第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容

総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点
ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容
多職種連携及びチームアプローチの意義と内容

ソーシャルワークの理論と方法 I

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 兒崎 友美

■使用テキスト 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第12巻 ソーシャルワークの理論と方法」中央法規出版

◆参考テキスト 福祉臨床シリーズ編集委員会編「新・社会福祉士シリーズ8 ソーシャルワークの理論と方法」弘文堂

講義概要・一般目標

本講座では、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ基礎的な項目を基に、実践で求められる基礎的な知識（主に、ソーシャルワーク実践に関する諸理論、ソーシャルワークの一連の過程）を習得できることを目的に課題を提示します。

本講座受講生は、能動的に自らがソーシャルワーカーの立場として課題に取り組むことを期待します。テキストを丁寧に繰り返し読むことで知識として定着し、さらにソーシャルワーク演習やソーシャルワーク実習を通して実践、ふりかえることで技術として身につきます。まずは基礎的な知識の修得を目指しましょう。

課題の提示の方法としては、基礎的な項目に対する知識の点検と事例を基にどのような援助計画や実践を提示していくかということを問う内容を提示していきます。

さらに、制度・政策的な流れについても理解を深め、ソーシャルワーク展開の分野についての特徴についても合わせて理解を深めて下さい。

到達目標

- 1) 本講座では、相談援助の基礎的なことを再度確認することで、ソーシャルワーカーにとって「相談援助」の展開過程を説明できる。(DP: ①、④)
- 2) 他の専門職が行う「相談」と何がどう違うのかを理解し、その特徴についても合わせて説明できる。(DP: ①、④)

実務経験のある教員による教育

科目担当（兒崎）は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践に必要な相談援助の理論と方法についての知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワークとは

この章ポイント

本章では、「ソーシャルワークで用いられる理論と概要」について学ぶことを目的としている。ソーシャルワーカーが強みとする「人」「環境」「人と環境の交互作用」の3者に視点を置く根拠や、ソーシャルワーカーとしての考え、語り、行動する際のよりどころとなることを理解し、実践に活かせるようにする。

第2章 ソーシャルワークの過程 —ケース発見とエンゲージメント（インテーク）—

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの展開、特に最初の段階について理解する。その際、困難な状況にある人が援助を受けることを決断するプロセスとソーシャルワーカーに出会うまでの経路について学ぶ。次に、ソーシャルワーカーがクライアントと出会って初めに行うエンゲージメント（インテーク）について学ぶ。援助が必要な人の中には、様々な事情で援助を求めない人がいるため、そのような人たちへのかかわり方についても学ぶ。

第3章 ソーシャルワークの過程 —アセスメント—

この章ポイント

本章では、アセスメントの意義と方法、留意点を理解することを目的としている。このアセスメントにおいては、第1章で学んだ理論とモデルがアセスメントを支えていること、そして実際の技法に活かされていることを意識して欲しい。

第4章 ソーシャルワークの過程 —プランニング—

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの原理と理論・モデルに基づいて、目的、目標、計画内容を設定する方法を学ぶことが目的である。プランニングは、連携や協働の要ともなるものなので留意点についても注意して欲しい。

第5章 ソーシャルワークの過程 —支援の実施とモニタリング—

この章ポイント

本章では、計画を実施するとともに、計画が適切に実施されているか、それによって目標達成に向かって進んでいるかなど、プロセスを確認するためのモニタリングの手続きと留意点について学ぶ。併せて、効果測定の目的と意義についても学ぶ。

第6章 ソーシャルワークの過程 —支援の終結と結果評価、アフターケア—

この章ポイント

本章では、支援の終結を迎えるにあたり行うことを学ぶ。また、支援の全体をふりかえって適切な実践ができたか、実践の効果があったかなど、評価を行う重要性についても学ぶ。したがって、支援の終結、結果評価、アフターケアの考え方や方法を学ぶことが目的である。

第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの「実践モデルとアプローチ」を学ぶことが目的である。まずは、実践モデルやアプローチの意味を理解したうえで、治療モデル、ストレングスモデル、生活モデルの基本的な3つのモデルの特徴を学ぶ。そして、心理社会、機能、問題解決、課題中心、行動変容といったアプローチが誕生した背景やそれぞれの特徴を知識として定着させる。そのためには実践（現場）でこれらの視点や視座、モデルやアプローチを活用できることを意識して取り組む。

ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 兒崎 友美

■使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座第12巻 ソーシャルワークの理論と方法」中央法規出版
◆参考テキスト	福祉臨床シリーズ編集委員会編「新・社会福祉士シリーズ8 ソーシャルワークの理論と方法」弘文堂

講義概要・一般目標

本講座では、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ基礎的な項目を基に、実践で求められる基礎的な知識（主に、ソーシャルワーク実践で活用する実践モデルやアプローチ、面接、記録、ケース・集団・地域を対象にしたソーシャルワーク実践など）を習得できることを目的に課題を提示します。

本講座受講生は、能動的に自らがソーシャルワーカーの立場として課題に取り組むことを期待します。テキストを丁寧に繰り返し読むことで知識として定着し、さらにソーシャルワーク演習やソーシャルワーク実習を通して実践、ふりかえることで技術として身につきます。まずは基礎的な知識の修得を目指しましょう。

課題の提示の方法としては、基礎的な項目に対する知識の点検と事例を基にどのような援助計画や実践を提示していくかということを問う内容を提示していきます。

さらに、制度・政策的な流れについても理解を深め、ソーシャルワーク展開の分野についての特徴についても合わせて理解を深めて下さい。

到達目標

- 1) 本講座では、相談援助の基礎的なことを再度確認することで、ソーシャルワーカーにとって「相談援助」の展開過程を説明できる。(DP：①、④)
- 2) 他の専門職が行う「相談」と何がどう違うのかを理解し、その特徴についても合わせて説明できる。(DP：①、④)
- 3) ソーシャルワーク実践に必要なモデルやアプローチ、面接、記録などについて説明できる。(DP：①、④)

実務経験のある教員による教育

科目担当（兒崎）は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践に必要な相談援助の理論と方法についての知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの「実践モデルとアプローチ」を学ぶことが目的である。まずは、実践モデルやアプローチの意味を理解したうえで、認知、危機介入、エンパワメント、ナラティブ、解決志向といったアプローチが誕生した背景やそれぞれの特徴を知識として定着させる。そのためには実践（現場）でこれらの視点や視座、モデルやアプローチを活用できることを意識して取り組む。

第8章 ソーシャルワークの面接

この章ポイント

ソーシャルワーク面接は、ソーシャルワークの全過程において「基本」となる。よってソーシャルワーク面接の意義や目的を理解し、面接の形態や手段、面接が行われる場所の多様性や構造、面接を実施する際の基本的な留意点について学ぶことを目的とする。また、非言語的・言語的双方の側面から、面接の基本的技法について把握し、知識として定着させることを期待する。

第9章 ソーシャルワークの記録

この章ポイント

本章では、ソーシャルワーク記録の意義と目的について学ぶ。また、記録の目的に合わせた「求められる内容」と「好ましくない内容」を把握し、記録の種類やフォーマットなどを活用しながらソーシャルワーカーとして求められる記録とは何かを学んでいく。

第10章 ケアマネジメント（ケースマネジメント）

この章ポイント

本章では、ケアマネジメント（ケースマネジメント）の歴史を整理する。そして、ケアマネジメントの意義や方法、ソーシャルワーカーが習得すべき手法の一つとしてのケアマネジメント（介護保険制度のではない）の本来の意義やモデル、プロセスについて学ぶ。

第11章 グループを活用した支援

この章ポイント

本章では、グループワークについての意義や目的を学ぶとともに、ジェネラリスト実践の視点からいくつかのタイプを学ぶ。そして、グループワーク展開のプロセスやセルフヘルプグループについて事例等に落とし込みながら理解して欲しい。

第12章 コミュニティワーク

この章ポイント

本章では、住民が主体となって地域の問題を解決する力を高める意義と、その方法としてのコミュニティワークを学ぶ。具体的には、実践を支える理論や歴史的流れを理解し、コミュニティワークの展開として、地域アセスメントと計画策定、地域組織化、地域開発、そして評価と実施計画の見直しについて学ぶ。

第13章 ソーシャルアドミニストレーション

この章ポイント

本章では、間接的支援の実践方法としてのソーシャルアドミニストレーションの概念と意義について学ぶ。その上で組織介入・組織改善の実践モデル、組織を運営するための財源の種類や財源確保の方法について学ぶ。

第14章 ソーシャルアクション

この章ポイント

本章では、定義や特徴、展開過程を学ぶ。また、ソーシャルワークにおけるソーシャルアクションの意義を理解していく。そして、コミュニティ・オーガナイズの考え方や技術、展開過程についても学ぶ。

第 15 章 スーパービジョンとコンサルテーション

この章ポイント

本章では、スーパービジョンとコンサルテーションの意義や目的、方法について学ぶ。ソーシャルワーカーの仕事は、資格を取得したらすぐにできるものではない。様々な状況に対応できるように学び続ける必要があり、専門性を向上させ、よりよいサービスを提供できるようにする技術を学んで欲しい。

権利擁護を支える法制度

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 日田 剛

■使用テキスト

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集
『最新 社会福祉士養成講座9 権利擁護を支える法制度』中央法規出版 2021

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

社会福祉のサービスは公共性に特徴がある。公共性とは権利としてサービスが提供されることである。

近年、社会福祉の分野でも社会福祉基礎構造改革から社会福祉法の改正に伴い、社会福祉のサービス利用のシステムが「措置制度」から「契約」に転換し、利用者とサービス提供者との「契約」に基づき諸々の福祉サービスが提供されている。社会福祉士が相談援助等で接する人の中には、高齢のために身体的にも精神的にも衰えている人、障がい有するのために自分の意思を十分に表明できない人などが存在する。このような人達は、判断能力の点で援助を必要としている要援護者であることが多い。だからこそ、権利として社会福祉サービスを保障するために相手の立場に立って考えられることのできる鋭い人権感覚が求められる（DP3）。

そこで、この科目では、相談援助を展開する上で、想定される法律問題を実際の相談でよくある問題に対応ができるために、基礎的に日本国憲法や行政法、民法などの法制度を学習し（DP7）、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解することで、誰のための何の権利擁護を実践しなければならないのかを明らかにし、社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し鋭い人権感覚を涵養する（DP1）。

到達目標

- 1) 本講座では、権利侵害を受けやすい市民を守る上での必要な知識、制度を学ぶ。
- 2) 成年後見制度やそれに関連する諸制度の申立てから実践までの一連の課程で、ソーシャルワーカーが関わる必要性について理解を深め成年後見人としての業務が遂行できる基礎を理解し、合わせて説明できるようになる。

実務経験のある教員による教育

介護老人保健施設、ケアホーム等での社会福祉士としての実務経験及び宮崎県社会福祉士会の社会福祉士として、「ばあとなあ宮崎」の成年後見人養成研修を修了し、成年後見人等の実務経験（10年）を持つ担当教員（日田）による実践に即した指導をおこなう。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 ソーシャルワークと法のかかわり

この章のポイント

ソーシャルワーカーの権利擁護活動にはあらゆる社会システム、法についての基本的な知識が必要である。また基本的人権を規定する日本国憲法の理解は不可欠であり、同時に民法、行政法の理解も求められる。

第2章 法の基礎

この章のポイント

慣習や伝統、道徳、法によって秩序が維持される社会で、ソーシャルワーカーはクライアントが属する部分社会の規範を尊重することが求められる。よってソーシャルワーカーはさまざまな社会規範と規範相互の関係について理解が求められる。また、裁判のシステムや判例にも精通する必要がある。

第3章 権利擁護の意味と支える仕組み

この章のポイント

成年後見制度をはじめとした権利擁護に関わる制度が整備されてきているが、制度があれば問題が解決するわけでない。本性は権利擁護の考え方を基盤に据え、福祉サービスの適切な利用、苦情解決の仕組み、「虐待」や「DV」等に関する法律、制度、障害を理由とする差別の解消について学ぶ。

第4章 権利擁護活動と意思決定支援

この章のポイント

「自己決定」はクライアントの重要な権利であり、それが達成できたと言えるのはどのような場合かとの問いに、意思決定支援が一つの回答である。この意思決定支援と合わせて個人情報保護法、インフォームド・コンセントについて学ぶ。

第5章 権利擁護にかかわる組織、団体、専門職

この章のポイント

ソーシャルワーカーは権利擁護に関する相談を受理し、受容・傾聴しながら制度に結びつけ社会資源を活用することが求められる。そのために本章では権利擁護にかかわる組織、団体、専門職とその役割について理解する。

第6章 成年後見制度

社会福祉士が成年後見制度の担い手として、法律専門職とともに権利擁護の役割を果たす意味を成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを学習することによって理解する。

また、最近の動向を踏まえ、後見事務のあり方など制度の課題を理解する。

高齢者福祉

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 兒崎 友美

■使用テキスト

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集
『最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』中央法規出版 2021

◆参考テキスト

・福祉臨床シリーズ編集委員会編 「新・社会福祉士シリーズ 13 高齢者福祉」弘文堂
・大和三重他編著「新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック 10 高齢者福祉」ミネルヴァ書房

講義概要・一般目標

本科目を理解するには、次の4つの柱を体系的に理解することが必要である。一つは、高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解することである。

二つ目は、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解することである。

三つ目は、高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解することである。中心となるのは介護保険制度であるが、高齢者・高齢社会に関連する制度・政策を学び、環境となるこれらの諸制度が高齢者とその家族に与える影響とは何かを学ぶ。

四つ目は、高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解することである。

到達目標

- 1) 学生は、高齢者の心身の特性と彼らを取り巻く社会的状況について理解し、説明することができる。(DP:①、④)
- 2) 学生は、高齢者に関する明治以降近代の法体系の発展と現行制度を理解し体系化することができる。(DP:①、④)
- 3) 学生は、高齢者に関する介護保険を含む連諸施策を理解し、サービスを利用しようとする人に説明することができる。(DP:①、④)
- 4) 高齢者を援助する社会福祉援助技術を習得し、実際に援助することができる。(DP:①、④)

実務経験のある教員による教育

科目担当(兒崎)は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士の実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、「高齢者福祉」にかかわる知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 高齢者と少子高齢社会

この章のポイント

高齢者とは、どのような存在で、どのような特性を持っているのかといったミクロレベルの視点から、高齢社会における社会の特性というマクロレベルの視点で高齢者に関する基本的な学習を進めていく。具体的には、高齢者をめぐる定義の変遷を追いながら時代や社会によってその捉え方を学ぶ。また、社会的、身体的、精神的な3つの側面から高齢者を総合的に理解する。

第2章 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境

この章のポイント

高齢者の生活実態について、最新かつ正確な知見を得られるよう高齢者の生活の諸側面や高齢者を取り巻く社会環境に関する知見を概観する。そして、高齢者の生活実態の多様性を学び、高齢者を含めた家族介護者支援の必要性とソーシャルワーカーの役割を理解する。

第3章 高齢者福祉の歴史と理念

この章のポイント

高齢者の人生や生活を支える社会の仕組みの起源を知り、それらの今日的意義や後世への影響を検証する。高齢者保健福祉の制度を時系列的に整理し、今後、さらに進展する少子高齢社会に求められる制度を考える際の手がかりとする。さらに、これらの学びからソーシャルワーカーにとって不可欠な高齢者とその家族を支援する際の礎となる理念を確認する。

第4章 介護保険制度

この章のポイント

本章では、介護保険制度の仕組み、要介護認定の手順を知り、実際の支援で要となる地域包括支援センターの業務を学ぶ。支援が必要な高齢者の状況によって、どのようなサービスを活用できるかを知るために介護保険サービスの体系を学ぶ。そして、制度を知り、活用することによって利用者の権利を擁護できるソーシャルワーカーを目指す。

第5章 高齢者に対する関連諸制度

この章のポイント

本章では、高齢者を支援する法体系を理解する。老人福祉法にはじまり、高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法、高齢者住まい法など多くの法体系の存在を学ぶ。さらに、これらの目的と意義について理解し、総合的な高齢者支援の体系を理解することで、社会保険と福祉の差異について認識することを目指す。

第6章 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割

この章のポイント

本章では、国、都道府県、市町村(保険者)等の役割、介護保険制度における指定サービス事業者、地域包括支援センター、国民健康保険団体連合会等の役割、高齢者を支援する福祉・医療・保健専門職の役割を学び、家族やボランティアなど高齢者を支援する身近な人々の現状を理解する。

第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際

この章のポイント

本章では、高齢者のアセスメントとコミュニケーションの要点を確認し、個人・家族・グループ・地域へのソーシャルワークの方法を学ぶ。そして、多職種・多機関連携とチームアプローチ、認知症ケア、終末期ケア、地域ケア会議と地域包括ケアシステムの構築において求められる留意点についても確認する。さらに、高齢者に関する事例を通して、高齢者と家族等に対する支援の実際を学ぶ。

地域福祉と包括的支援体制

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版

◆参考テキスト 資料等

- ・日本地域福祉学会(編)「新版 地域福祉事典」中央法規 2006
- ・地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会（地域力強化検討会）地域力強化検討会最終とりまとめ～地域共生社会の実現に向けた新しいステージへ～
- ・「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会（地域共生社会推進検討会）「最終とりまとめ」
- ・「社会福祉六法」中央法規
- ・社会福祉の動向編集委員会「社会福祉の動向 2024」中央法規出版
- ・財務省ホームページ「日本の財政関係資料」
- ・「月刊福祉」全国社会福祉協議会 毎月発行

講義概要・一般目標

地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成することが求められている。そこで、本科目では地域福祉の考え方や包括的支援体制について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。（DP1・DP4）

なお、本科目に関するテキストをはじめ、参考テキスト・資料等により、基本的知識や地域福祉の動向を修得する。（DP5）

到達目標

- 1) 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について説明できる。
- 2) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について説明できる。
- 3) 地域福祉ガバナンスと多機関協働について説明できる。
- 4) 地域福祉の基本的な考え方について説明できる。
- 5) 地域を基盤としたソーシャルワークの展開について説明できる。
- 6) 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について説明できる。
- 7) 福祉計画の意義と種類、策定と運用について説明できる。
- 8) 国・都道府県・市町村の役割、祉行政の組織及び専門職の役割について説明できる。
- 9) 福祉における財源について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当者（川崎）は、地域福祉の実践現場（社会福祉協議会）での5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題

この章のポイント

地域社会の概念とコミュニティに関する理論を概観し、我が国のコミュニティ政策の展開について理解するとともに、地域社会の変化によって発生する地域生活課題と対応策について学ぶ。

第2章 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制

この章のポイント

地域共生社会の考え方を学習し、包括的支援体制及び2020（令和2）年の社会福・祉法改正で新たに位置づけられた重層的支援体制の具体的な展開方法について学び、実現に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。

第3章 地域福祉ガバナンスと多機関協働

この章のポイント

地域福祉ガバナンスの概念を理解するとともに、地域福祉ガバナンスを進めるための協議の場の必要性および社会福祉士・精神保健福祉士など専門職の役割や果たすべき機能をについて学ぶ。

第4章 地域福祉の基本的な考え方

この章のポイント

地域福祉の基本的な考え方である「地域福祉の概念と理論」及び「地域福祉の歴史」を一体的に理解するとともに、近年の「地域福祉の動向」における地域福祉の課題と解決を担う「地域福祉の主な推進主体」について学ぶ。また、「地域住民の主体」形成のための方法として「福祉教育」の重要性について理解する。

第5章 地域を基盤としたソーシャルワークの展開

この章のポイント

地域共生社会の実現に向け重要な役割を持つ、地域を基盤としたソーシャルワークであるコミュニティソーシャルワークの考え方やそれが必要となった背景を理解する。また、住民の主体形成を支援するソーシャルワークの視点や方法、コミュニティソーシャルワークの具体的な展開過程について学ぶ。

第6章 災害時における総合的かつ包括的な支援体制

この章のポイント

災害多発時代ともいわれる近年の状況を踏まえ、災害時における法制度について理解するとともに、災害によって生じる課題に対し、どのような地域福祉や包括的支援を行うかについて学ぶ。

第7章 福祉計画の意義と種類、策定と運用

この章のポイント

福祉計画の基本的視点や福祉計画が果たす機能を戦後の福祉計画の歴史を踏まえて理解するとともに、地域福祉（支援）計画の内容について学ぶ。また、福祉計画の策定過程と方法・技術、ニーズ把握と評価の方法・技術について、ソーシャルワークの視点に基づいて学ぶ。

第8章 福祉行財政システム

この章のポイント

国や都道府県、市町村の役割について理解するとともに、地方の分権化の状況と国と地方の関係について学ぶ。また、社会福祉の実施体制と専門職の配置、国家予算及び地方予算における福祉の財源構成について学ぶ。

認知症の理解

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 稲田 弘子

■使用テキスト 介護福祉士養成講座編集委員会（編）
「最新・介護福祉士養成講座第13巻 認知症の理解 第2版」中央法規出版 2022

◆参考テキスト 日本認知症ケア学会編「改訂・認知症ケアの基礎第4版」株式会社ワールドプランニング

講義概要・一般目標

認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それらによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響や認知症の人の心理状態、認知症における中核症状と周辺症状等について理解し、個々に合ったケアが提供できるための知識、さらに地域で生活している認知症の人とその家族を支援するための体制のあり方やその具体的な取り組み方法、多職種連携等について理解する。

認知症ケアの目指すところは、「認知症の人やその家族が笑顔で楽しくその人らしく生きられる」ことです。認知症のある人が、尊厳を持ち人生を継続していくためには、支援にあたる人たちの認知症の病気の理解や日常生活への影響の理解、それらを緩和するための介護のあり方について理解することが重要となる。(DP3.6)(CP3)

到達目標

- 1)認知症の基本的な知識について説明できる。
- 2)認知症に伴うこころの変化について説明できる。
- 3)認知症ケアの理念と視点について説明できる。
- 4)認知症ケアの実際について説明できる。
- 5)認知症の人を介護している家族の心理や地域生活支援について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院（在宅を含む）、施設（在宅を含む）】が5年以上ある。その経験に基づき、必要な知識・技術の修得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 認知症の基礎的理解

この章のポイント

近年、認知症をめぐる医学的研究は急速に発展しています。そうした最近の知見を含め、ケアするにあたって、おさえておきたい医学的知識について学びます。また、認知症の人は、日々の生活においてどのようなことを体験し、それをどのように感じているのでしょうか。「認知症になったら何もわからなくなる」ではありません。認知症の介護は、まずは認知症の人の心理・体験を知ることから始まります。認知症本人がどのように感じているのか、その思いを学びます。

第2章 認知症の症状・診断・治療・予防

この章のポイント

認知症の特性を理解するためには、中核症状とBPSDの関係について理解しておかなければなりません。認知症の人の行動には「理由」があります。「問題行動」としてとらえるのではなく、なぜそのような行動をするのか、どのような心理状態にあるのかなど、その理由を探るための基礎となる知識を学びます。

第3章 認知症ケアの歴史と理念

この章のポイント

認知症のケアは大きく変わろうとしています。本章ではこれまでの認知症ケアの歴史を振り返り、これからどのような理念をもってケアを創造していけばよいのかを考えます。また、認知症の本人からの視点やおもいを理解したうえで支援内容を考えるための基本を学びます。

第4章 認知症ケアの実際

この章のポイント

認知症は生活のさまざまな場面に影響を与えます。その影響を理解し、認知症の人が、生活を続けるためにどのように支援すればいいのか、具体的な支援方法を学びます。また、認知症のステージに応じた介護のあり方について、暮らす場による違いを含めながら、介護するときどのようにケアしていけばいいのか等、かわり方を学びます。

第5章 介護者支援

この章のポイント

認知症の人を介護している家族や介護福祉職の人の支援のあり方について学びます。

第6章 認知症の人の地域生活支援

この章のポイント

認知症の人が「その人らしく暮らす」ためには、さまざまな地域資源を活かしていく視点が重要となります。地域におけるサポート体制、多職種、多資源協働のチームアプローチの具体的な内容を通して「どのように支援すれば認知症の人を地域で支えていけるのか」を学びます。

発達と老化の理解

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 稲田 弘子

■使用テキスト 介護福祉士養成講座編集委員会 編集
『最新 介護福祉士養成講座 1 2 発達と老化の理解 第 2 版』中央法規出版 2022

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

「発達と老化の理解」では、人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響について理解し、生活を支援するために必要な基礎的な知識を修得する。

人間の成長と発達の基礎的な理解のために、誕生から死に至るまでの心身の発達や成長、生理的变化を理解したうえで、老化にともなう心身の変化やそれが日常生活に及ぼす影響、家庭・地域での役割の変化や、経済的不安、いろいろな喪失体験など老年期の発達課題について理解する。(DP3.5)(CP3)

到達目標

- 1) 人間の発達と成長についての基礎的な知識を説明できる。
- 2) 各発達段階の特徴と課題について説明できる。
- 3) 老化期の特徴と発達課題について説明できる。
- 4) 老化による心身の変化と日常生活での影響について説明できる。
- 5) 高齢者に多い疾病・症状と生活上の留意点について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院（在宅を含む）、施設（在宅を含む）】が5年以上ある。その経験に基づき、必要な知識・技術の修得を目的とした指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 人間の成長と発達の基礎的知識

この章のポイント

この章では、人間の成長・発達の考え方、成長・発達の原則や影響している要因について基礎的な知識を学ぶ。

第2章 人間の発達段階と発達課題

この章のポイント

この章では、ピアジェやエリクソン、ハヴェィガーストの理論や、ライフサイクル各期における身体的・心理的・社会的特徴と、発達課題及び各発達段階にみられる特徴的な疾病や障害について学びます。

第3章 老年期の特徴と発達課題

この章のポイント

この章では、老化・加齢の用語の定義や老化学説の種類とその内容を学びます。また、老年期の発達課題や日本が抱える超高齢社会の課題について学びます。

第4章 老化にともなうこころとからだの変化と生活

この章のポイント

この章では、老化に伴う、身体的・心理的・社会的な変化とそれらの変化が日常生活にどのように影響を及ぼしているのかについて学びます。

第5章 高齢者と健康

この章のポイント

この章では、高齢者に多くみられる疾病・症状の特徴、それによる生活への影響や留意点、健康維持・増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を学びます。

貧困に対する支援

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 日田 剛

■使用テキスト

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集
『最新 社会福祉士養成講座4 貧困に対する支援』中央法規出版 2021

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

公的扶助は国民の生存権を保障する制度として機能することが求められている。そのため、その制度の内容及び運用が生死を分けるといっても過言ではない。

また、貧困に関する問題が複雑化する現代において、この科目では、低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際を知り（DP6）、相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に関わる他の法制度について理解することを目的とする（DP7）。生活保護法を中心に、貧困への支援の理念や意義、その内容を学ぶとともに、ソーシャルワーカーの役割について考える（DP3）。

到達目標

- 1) 貧困概念の変遷、歴史について理解する
- 2) 生活保護制度と関連制度の仕組み、生活保護の実施と関係専門職の役割を理解する
- 3) 低所得者の動向と課題、低所得者の支援に関する社会保障制度について理解する

実務経験のある教員による教育

実務経験（社会福祉士等 10 年）のある担当教員（日田）による実践に即した指導をおこなう。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 公的扶助の概念

この章のポイント

各国に共通する公的扶助制度の基本理念や考え方、その仕組みや内容等を学習することで、公的扶助の概念とその範囲について理解する。また、社会保障制度の中心となる、救貧制度としての公的扶助制度と防貧制度としての社会保険制度を対比することで、公的扶助の基本的性格とその特質についての理解を深める。

公的扶助の意義と役割・機能について、セーフティネット機能・ナショナル・ミニマム機能を中心として学習する。

第2章 貧困の概念と貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境

この章のポイント

この章では、貧困概念についての理解を図る。また、貧困状態にある人への対応や支援を考える上で、貧困・貧困状態にある人とはどのような人を指すかを学ぶ。最後に貧困状態にある人を取り巻く環境について明らかにする。

第3章 貧困の歴史

この章のポイント

貧困は古くて新しい問題であり、人間の歴史とともに変遷を繰り返している。その問題の現れ方や捉え方、対応策も変わっていきっている。歴史的変遷を概観し、貧困者の権利と福祉を保障する仕組みがいかにして確立してきたのか、そのプロセスを理解する。

第4章

この章のポイント

生活保護法は憲法 25 条の理念に基づき、生存権の保障を具体的に実現する重要な制度である。その目的および基本的な考え方となる 4 つの原理と、保護を具体的に実施する際の 4 つの原則について学習する。また、生活保護制度の財源・予算について理解し、統計資料をもとに示した被保護人員や被保護世帯の状況から、現在、生活保護を受給している人・世帯が置かれている状況を、総合的・多角的に学ぶ。

第5章 低所得者に対する法制度

この章のポイント

低所得者対策の主要施策である生活困窮者自立支援制度、生活福祉資金貸付制度や、ホームレス対策などの制度、施策について、その概要を学ぶ。

第6章 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割

本章では、貧困に対する支援を実施する関係機関、特に福祉事務所の全体像を理解する。また、生活困窮者自立支援制度に規定されている自立相談支援機関や、関係する専門職についても学ぶ。

第7章 貧困に対する支援の実際

貧困に対する支援を担う社会福祉士の役割と基本姿勢、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度における相談支援の仕組み、流れを学ぶ。また、具体的な事例を通して社会福祉士として、いかに人と環境に働きかけていくことができるかを考える。

設置認可申請時に提出した授業計画（実務経験のある教員等による授業科目部分の抜粋）

通信教育部社会福祉学部スポーツ健康福祉学科（令和6年4月開設）

授 業 科 目 の 概 要			
(通信教育部社会福祉学部スポーツ健康福祉学科)			
専門 教育 科目	ソーシャルワークの基盤と 専門職Ⅰ	本講座では、社会福祉士と精神保健福祉士いずれの専門職にも共通して求められるソーシャルワークの基盤となる概念や専門性を理解することを目標とする。したがって、社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけやそれぞれの役割と意義を学び、専門性を理解していく。これまでの実践と理論化により獲得してきたソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、ソーシャルワークの歴史的形成過程を学ぶ。そのことから、今日求められている「総合的かつ包括的な支援」の全体像を理解し、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能の内容を学び、専門職としてのあり方を考え、全体を通して、ソーシャルワークの専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようにする。	印刷教材
	ソーシャルワークの基盤と 専門職Ⅱ	本講座では、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰで学んだことを土台として、社会福祉士の専門性をさらに深める内容を学ぶ。具体的には、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を理解し、ソーシャルワーク対象レベル（マイクロ・メゾ・マクロ）への支援の実際と関連性を理解していく。そのことから、ジェネラリストの視点で総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容を深めていき、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能や専門職としてのあり方を考え、全体を通して、ソーシャルワーク専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようにする。	印刷教材
	ソーシャルワークの理論と 方法Ⅰ	本講座では、「相談援助の基盤と専門職」で学んだ内容について基礎的な項目を再度復習すると共に、実践に近づけることを目的に事例を中心として授業を展開していく。そこで、本講座受講生は、能動的に事例に取り組み、即ち自らがソーシャルワーカーの立場として課題に取り組むことを期待します。課題の提示の方法としては、基礎的な項目に対する知識の再点検と事例を下にどのような援助計画や実践を提示していくかということを問う内容を提示し、さらに、制度・政策的な流れについても理解を深め、ソーシャルワーク展開の分野についての特徴についても合わせて理解を深める。	印刷教材
	ソーシャルワークの理論と 方法Ⅱ	本講座では、「相談援助の基盤と専門職」で学んだ内容について基礎的な項目を再度復習すると共に、実践に近づけることを目的に事例を中心として授業を展開していく。そこで、本講座受講生は、能動的に事例に取り組み、即ち自らがソーシャルワーカーの立場として課題に取り組むことを期待する。課題の提示の方法としては、基礎的な項目に対する知識の再点検と事例を下にどのような援助計画や実践を提示していくかということを問う内容を提示し、さらに、制度・政策的な流れについても理解を深め、ソーシャルワーク展開の分野についての特徴についても合わせて理解を深める。	印刷教材
	地域福祉と包括的支援体制	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では包括的支援体制と地域福祉の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。	印刷教材
	高齢者福祉	本科目を理解するには、次の4つの柱を体系的に理解することが必要である。一つは、高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解することである。二つ目は、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解することである。三つ目は、高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解することである。中心となるのは介護保険制度であるが、高齢者・高齢社会に関連する制度・政策を学び、環境となるこれらの諸制度が高齢者とその家族に与える影響とは何かを学ぶ。四つ目は、高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解することである。	印刷教材
	貧困に対する支援	公的扶助は貧困から救済するための最後のセーフティネットとして、国民の生活を保障する制度として機能することが求められている。そのため、公的扶助は人の生存権に深く関わるものであり、その制度の内容や運用が生死を分けるといっても過言ではない。この科目は、現代社会における低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とそれを支える現実を知り、相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に関わる他の法制度について理解することを目的に、生活保護法を中心に低所得対策の理念や意義、その内容を学ぶとともに、生活保護制度の運用にたざさわるソーシャルワーカーの役割について考える。	印刷教材

授 業 科 目 の 概 要

(通信教育部社会福祉学部スポーツ健康福祉学科)

専門 教育 科目	権利擁護を支える法制度	<p>現代の市民社会で生活している者は、対等・平等であることが原則であるから、自分での意見はお互いに主張し合って、調和点を見つけながら、社会生活を営むことができる。近年、社会福祉の分野でも社会福祉基礎構造改革から社会福祉法の改正に伴い、社会福祉のサービス利用のシステムが「措置制度」から「契約」に轉換し、利用者とサービス提供者との「契約」に基づき諸々の福祉サービスが提供されている。</p> <p>しかし、社会福祉士が相談援助等で接する人の中には、高齢のために身体的にも精神的にも衰えている人、障がいをもつために自分の意思を十分に表明できない人などが存在する。このような人達は、判断能力の面で援助を必要としている要援護者であることが多い。だからこそ、「援助」の名の下に人権侵害をしないように、相手の立場に立って考えられることのできる鋭い人権感覚が求められる。そこで、この科目では、相談援助を展開する上で、想定される法律問題を「福祉サービスの利用と契約」「消費者被害と消費者保護」「自己破産と保証」「行政処分と不服申立」など実際の相談でよくある問題に対応ができるために、基礎的に日本国憲法や行政法、民法などの法制度を学習し、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解することで、誰のための何の権利擁護を実践しなければならないのかを明らかにし、社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し鋭い人権感覚を涵養する。</p>	印刷教材
	発達と老化の理解	<p>「発達と老化の理解」では、人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響について理解し、生活を支援するために必要な基礎的な知識を修得する。人間の成長と発達の基礎的な理解のために、誕生から死に至るまでの心身の発達や成長、生理的变化を理解したうえで、老化にともなう心身の変化やそれが日常生活に及ぼす影響、家庭・地域での役割の変化や、経済的不安、いろいろな喪失体験など老年期の発達課題について理解する。</p>	印刷教材
	認知症の理解	<p>認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それらによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響や認知症の人の心理状態、認知症における中核症状と周辺症状等について理解し、個々に合ったケアが提供できるための知識、さらに地域で生活している認知症の人とその家族を支援するための体制のあり方やその具体的な取り組み方法、多職種連携等について理解する。認知症ケアの目指すところは、「認知症の人やその家族が笑顔で楽しくその人らしく生きられる」ことです。認知症のある人が、尊厳を持ち人生を継続していくためには、支援にあたる人たちの認知症の病気の理解や日常生活への影響の理解、それらを緩和するための介護のあり方について理解することが重要となる。</p>	印刷教材